京城日報
朝刊
京城府太平通一丁目三十一番地
發行所　合資會社京城日報社
編輯兼發行人　高宮太平

一滴のインキも皇國のために
（萬年筆用）
ライトインキ

潜水艦に輝く初の感狀
米空母に必殺の魚雷
ミッドウエー海戰　武勳上聞に達す

【東京電話】赫々殊勳なる昨年六月の東太平洋作戰はミッドウエー強襲、アリューシャン急襲など赫々の戰果を收めて敵心膽を寒からしめたが、六月七日のミッドウエー海戰においてわが猛攻に損傷を蒙り曳航中の米空母ヨークタウン型一隻を捕捉、嚴重なる警戒網を突破してこれを撃沈した伊號第〇〇潜水艦の殊勳に對しさきに山本聯合艦隊司令長官より大東亞戰爭以來潜水艦として初の感狀を授與せられ、今般畏くもこれが上聞に達せられた旨十四日海軍省より次の如く公表された

海軍省公表（四月十四日十五時）昭和十七年六月七日ミッドウエー海戰において損傷を被り曳航中の敵航空母艦一隻を捕捉、嚴重なる警戒網を冒して之を撃沈せしめたる伊號第〇〇潜水艦に對し聯合艦隊司令長官より左の通り感狀を授けられ、右の旨上聞に達せられたり

感狀　伊號第〇〇潜水艦

昭和十七年六月七日ミッドウエー海戰において同島北方に損傷、被曳航中の敵大型航空母艦一隻を捕捉し至嚴なる警戒網を突破し克く之を撃沈せるは爾後の作戰に寄與せる所大にして其の功績顯著なりと認む
仍て茲に感狀を授與す
昭和十七年十二月八日
聯合艦隊司令長官　山本五十六

戰鬪經過

【東京電話】伊號第〇〇潜水艦はミッドウエー作戰に參加し昭和十七年六月はじめからミッドウエー島を中心に附近一帶の監視あるひは敵航空基地砲擊などに從事してゐたが、六月六日の夕刻わが航空部隊の攻擊により大破されミッドウエー島北方に漂流中の敵航空母艦ヨークタウン型を撃沈すべしとの命をうけ、直ちに指示地點に急航した

翌七日日の出前同艦は遙か洋上において驅逐艦により徐々に曳航されてゐるヨークタウン型空母を發見し、當時右空母は周圍に數隻の驅逐艦を配し警戒嚴重を極め加へて天候晴朗、波高五メートルの東風を見るだけで星影はあったが波浪はほとんどなかった

このため敵空母に接近するとは非常に困難な狀態であったが、〇〇潜水艦は音響管制を嚴にして敵驅逐艦の艦底を三度にわたり通過するなど細心かつ大膽な行動を敢行、遂に所期の計畫による至近距離に肉薄、必殺の魚雷を發射して見事敵空母を撃沈した、時に午前十時三十分であった

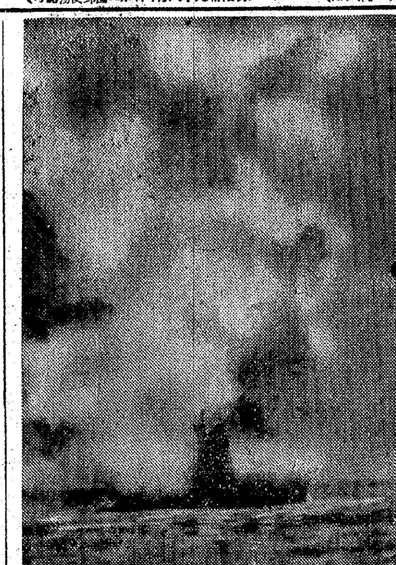
しかるに魚雷發射後より四時間餘にわたり敵驅逐艦は執拗猛烈な爆雷攻擊を加へ來り、さらに午後に至り浮上するや追擊砲擊をうけたが、沈着にこれを回避し強靱不拔の精神力と適切な處置によって遂に危機離脫に成功した

反樞軸機百五十八擊墜

【ローマ十三日同盟】伊軍司令部は四月一日から十二日までの間に地中海および北阿で伊軍が擊墜した反樞軸機の數は百五十八機にのぼる旨十三日發表した

匕首一閃敵を屠る
潜水艦長が苦心の襲擊手記

【〇〇基地にて平出海軍報道班員發】米英擊滅の燈火猛けてわが帝國潜水艦の縱橫無盡の活躍は勝ち拔くための尖兵として一刻の緩みもなく敵陣深く鋭い匕首を擬してゐるのである、思へば昨年六月七日わが〇〇潜水艦は遠くミッドウエー北方洋上に米航空母艦ヨークタウン型撃沈の偉勳を樹て敵驅逐艦の執拗な爆雷攻擊も艦長以下上下一致して日頃の訓練の至高を發揮し沈着冷靜、機敏に應急對策を講じて敵陣を突破し、その勳は不朽の金字塔を築いたのであった、記者は〇〇基地にあって〇〇方面に出擊直前の同潜水艦を訪れ神前に捧げられた開戰以來初の潜水艦感狀を拜し、感激一入新たなものがあった、以下は同潜水艦長が語る苦心の空母襲擊手記である



わが艦はミッドウエー作戰の開始から同方面に索敵をつゞけてゐたが六月六日わが荒鷲の奇襲に傷ついた航空母艦がミッドウエー北方〇〇浬附近に傾斜しつゝ漂流してゐるから撃沈せよとの命令を受け、翌未明現場に到着すべく高速で途中充分に充電補氣を行ひながら指示された點へ向った、翌七日午前〇時〇〇分、豫定地點につくと見張員が『黑いものが見えます』と報告した、これが最初の發見で、さらにまた別に黑いものを一つ發見した、この時空母は〇〇度の後方〇〇メートルで潜航してをり本艦はその後方〇〇メートルで潜航した、次第に視界も明るくなり空母は左に傾いてゐるのを認めたので左舷の襲擊を決意し襲擊距離を適當にとりつゝ進んだ、飛行甲板には爆彈の穴らしいものを認めず火災の模樣もなく恐らく魚雷による傾斜と思はれた、私は間もなく爆雷に對する防禦を命じ深度許容や艦內の準備を完了した

敵驅逐艦は周圍に五隻前方に二隻あり警戒は至嚴を極めてゐた、空は晴、東風が五メートル、僅かにうねりはあるものゝ白波は殆どなく絶好の襲擊日和に私の心は躍った、發見した時は敵は停止漂泊してゐるやうに思はれたが、その後觀測する毎に航海長の作圖による豫想と違ふので潜航してより〇時間半頃よりあるひは動いてゐるのではないかと疑問を抱きはじめた、潜望鏡觀測の都度正橫距離が豫想外に近くなり、また方位角も却って大となって一向に前に進出せず一時は海流に流されてゐるのではないかとも考へた、遂に左からの襲擊困難を感じ右からの襲擊を決意、思ひ切って右に出た

敵驅逐艦の警戒幕を橫切って二時間、全く潜望鏡を上げず、ただ作圖によって敵前進路を扼さんものと突進したのであって敵を見ぬほど心配なことはない、運を天にまかせて私は無言の潜航をつづけた、敵驅逐艦は幾度も直上を往復した、〇〇時〇〇分神に念じつゝ上げた潜望鏡にあゝ二隻の驅逐艦に曳航された敵空母が〇〇メートルの近くに映ったのであった、私はこの警戒嚴重な敵を射止めるには一回で成功しなければならぬと覺悟した、すでに本艦は敵驅逐艦の警戒網を突破して至近の距離にある

〇〇時〇〇分空母は私の註文通りのところへぐつと廻頭して來た『射て』〇分〇〇秒、嬉しや四度命中音が激しく艦を震はせたかと思ふと引つゞいて大爆發音が海も裂けよとばかりに耳朶を搏ったのであった、發射寸前に驅逐艦は本艦艦尾から僅か〇〇メートルにゐたが敵は魚雷命中に周章狼狽して爲す術もなく頭上をうろたへ廻ってゐたが一時間後漸く右から左へ直上を通過した驅逐艦が二發相次いで爆雷を投下し艦は一尺も飛び上った、其後十分乃至十五分間隔で百發以上も數へられたが本艦は僅かに〇〇に故障を生じたのみであった、〇〇時遂に電池の電力がなくなり電燈が消えた、艦內は暗くなり僅かに懷中電燈の點滅が私達の運命を暗示するかのやうに心を掠った

艦は遂に〇〇度の仰角で浮上しはじめた、機關長も發令所に來て先任將校の指示を仰ぎ機關員も前後に移動して平行を保たうとしたが最早浮上するより方法はなくなった、浮上すれば敵の最中、差違へて肉彈突擊よりほかはない、ただ最後の爆雷攻擊より〇〇分を經過し、殘敵は遠ざかったのではないかといふ一縷の希望を抱いて不安裡に艦橋ハッチを開いた

艦橋に上って見ると近くには敵なく、また飛行機も見えず遙か彼方〇〇メートル附近に三隻の驅逐艦が歸途についてゐるのが發見され、すでに空母の姿なく撃沈は確實となった、空母撃沈、使命を果した以上いつ死んでもいゝ、人事を盡して天命を待つのだ、敵驅逐艦は遠距離にをり『しめた』と思った時、敵もまた本艦を發見したと見えて廻頭をはじめた、浮上前『電力なし、空氣〇〇キロ』の報告があったので急速充電補氣を命じ艦尾を敵に向け全力で走った、兩舷からは濛々たる黑煙が艦を蔽ひ期せずして煙幕がわが艦影を包んだのであった、驅逐艦三隻のうち一隻は途中で追及を斷念し左右の二隻のみとなったが、左側の驅逐艦は本艦の煙幕に隱れ僅かに右側の一隻が薄い煙の間から時々見えた

〇〇分敵は猛進して次第に距離は縮った、然し今度潜航すれば運命極まるものと覺悟した私は通信員をして空母撃沈の任務を果した報告をさせた、驅逐艦は遂に〇〇メートルに迫った、とに角潜らなければやられると決意したものゝ『電氣充電機はどうだ』と聞いたが『自信はありません』といふ返事、最後の努力だ、もう一度潜航すればそのうちに電力もなんとかなるだらうと見當をつけて潜航した、深度〇〇『推進機が微かに廻ります』といふ聽音機の報告、私は夢ではないかと思った、聞える聞える、遂に私達は勝った、精神一到何事かならざらん、これぞ潜水艦魂だ、電動機は運轉をはじめたのだった

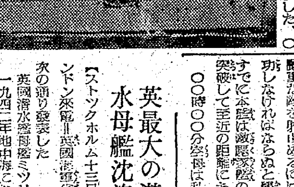
鮮鐵に獨自の使命
大陸の一元運營全し

決戰必勝に大陸推進兵站基地の半島が負荷する眞使命のうち、陸海輸送力の增強は內地と大陸とを結ぶ交通の要衝に位する關係から朝鮮自體の生產力擴充と相俟って國防の要務であり輸送機關の能率低下の防止と、物資動員計畫による軍需、官民需物資の重點輸送にはあらゆる角度から考究され、殊に半島に於いては戰時陸運非常體制の整備、車輛の增強とともにトラック、牛馬車、荷車等運送補助輸送の動員により一輛の車輛と雖も空轉を許さぬ非常時輸送を斷行

十八年度の道知事會議に於いても小運送機構は輸送體系の增強を力說、鐵道また去る四月一日を期して旅客輸送の緊急節減による重要物資の重點輸送に轉換、鮮內滿洲國に絶大なる協力を遂げつゝあるが、たまく內外地の一部において大陸輸送の一元化による鮮鐵の滿鐵委任經營の噂が流布されてゐるが、これは根據なき風說として輸送關係はじめ總督府は何等關知せず、まだこれが議論は全然なされてゐない

鮮鐵輸送の歷史において大正六年から大正十四年に亘る滿鐵への委任經營を見た事實はあるがその行政的統制に於いて滿鐵の大運輸中心主義、會社金融處理問題から鮮鐵は苦い犧牲を負ひ、委任經營は失敗に歸着したのであった、その後東滿の物資輸送の吞吐港をわが北鮮に求め、所謂羅津港の滿鐵投資となり雄基、淸津とを併せての北鮮三港一元化を狙ひ十ケ年の契約にて淸津以北の鐵道と共に昭和八年滿鐵の委任經營となり、次いで背後地の資源開發と近代產業の勃興に呼應して淸津港の自活は半島產業に重要使命を演ずるとゝもに、同十五年委任經營の改更をなし、上三峰以北を委任し今日に到ってゐるのである

しかして大陸輸送技術の一元的運營は今日何等の支障を招くこともなく圓滑に遂行され、鮮鐵は國鐵として輸送運營の重責を果しつゝあり苦い過去の經驗からもまた低物價政策に寄應する鮮鐵と滿鐵、華北との輸送運賃率の等差をはじめ各般の現況から一元的滿鐵委任經營は根據なき浮說として軍需關係物資、生產力擴充用資材、生活必需物資等、最重點輸送に拍車をかけるとゝもに海上輸送の陸運轉嫁に萬遺憾なきを期してゐる



英最大の潜水母艦沈沒

【ストックホルム十三日同盟】ロンドン來電＝英國海軍省は十三日次の通り發表した

英國潜水艦母艦ミッドウエーは一九四二年地中海において沈沒した

ミッドウエーは一九二九年八月進水、排水量一萬四千六百トン、四インチ砲二門、四インチ高角砲四門を裝備し英國海軍が誇る最大の潜水艦母艦である【寫眞＝昨年地中海で擊沈されたイギリス海軍潜水母艦 ミッドウエー＝電送】

船舶卅四隻擊沈破
飛機擊墜破四百六十五
アキヤブ北方作戰々果

【大本營發表】（四月十四日十七時）帝國陸軍部隊のアキャブ北方地區作戰（航空作戰を含む）における四月十日迄の戰果次の如し

一、敵に與へたる損害
（イ）遺棄死體　約四、二〇〇（うち英兵約一、〇〇〇）俘虜　五一六、主なる鹵獲品　各種火砲一五六門、重輕機關銃二七四挺、小銃四、〇一五挺、戰車及び裝甲車　五〇輛、自動車七七輛、馬匹四七三頭
（ロ）船舶擊沈　一千トン級一隻、五百トン級四隻、擊破　一千トン級十四隻、五百トン級十五隻、飛行機擊墜破　四百六十五機、軍事施設爆碎炎上五十二箇所
二、わが方の損害　戰死四百二十二名、飛行機四十六機

擊墜敵機は最新銳機

【東京電話】わがビルマ方面陸軍航空部隊は地上作戰に緊密に協力するとともに進んで東部印度の敵基地に猛攻、あるひは出擊し來る敵機を邀擊しわが地上火器もまた敵機に多大の損害を與へてゐるが十四日大本營發表による昨年十二月から本年四月十日までの敵機擊墜破總計は四百六十五機の多數にのぼることが明かにされた、すなはち

	地上砲火による擊墜	空中戰による擊墜	地上擊破
十二月	一六	四一	四二
一月	三二	二三	一七
二月	三六	二六	一三
三月	二〇	六六	五八
四月	二	二五	四八
計	一〇六	一八一	一七八

となってゐる、敵機はコンソリデーテッドＢ二四爆擊機、ハリケーン戰鬪機などを主とする最新銳機であるが、わが陸鷲の前に次々と擊墜破の運命を辿ってゐる、またわが陸鷲の東部印度への出擊はチッタゴン、フエンニイ、テンスキヤなどを初め遠くカルカッタにまで及び最近に於てはアコウラ、ドハザリ、ラムなど敵の基地を潰滅に歸せしめてゐる

各道保安課長會議開く

各道保安課長會議は十四日午前九時から總督府第二會議室に開催、丹下警務局長、警務課長、保安課長、各道保安課長出席（京畿道は刑事、建築兩課長も出席）して國民儀禮につき丹下警務局長の訓示があってのち警務、保安課長の說示で時局下司法警察、交通の各般につき協議を遂げ午後五時過ぎ閉會した

會議は十五、十六兩日も續行し第二日の十五日は關係局との連絡打合を行ふ豫定である、なほ警務課長以下總督府警務局關係官出席の各道課長は十三日夜から會議終了まで龍山官邸において錬成を行ふことになった

美しき日本の友情
同生共死今や全し
寄城の陳公博氏語る

參戰中國の現狀を報告、中國に對する帝國の諸施策に謝辭の意を表するとゝもに日本の實情視察のため去る七日來朝した國民政府特派大使立法院長兼上海特別市長陳公博氏はじめ駐日大使館參事、宣傳部參事、上海特別市參事沈爾喬、立法院秘書林某氏ら一行は歸國の途中十四日午前十一時卅分空路寄城、板垣朝鮮軍司令官と交驩挨拶を交し招待午餐會に臨み午後二時卅分再び空路をとって一路歸國したが、感慨深き親交の板垣大將との懇談を終へ記者團と會見して訪日の使命を果した喜びを大要左の如く語った

私はこの度國民政府の命をうけて日本を訪問した　天皇陛下に拜謁仰付けられ優渥なる御言葉を賜り、誠に恐懼感激いたしました、また東條首相から親しく激勵をうけ、朝野の歡迎に對し誠に感激にたへません

東京における滯在は僅か六日間の短時間でありましたが、私は十分使命の達成が出來たことをこの上ない光榮といたしてをります、私が今回友邦日本を訪問いたしましたのは二つの使命がありました

その一つは中國が參戰いたしましたその後の中國の狀況を詳しく日本朝野に御報告申しあげること　また　その二つには　國民政府還都三周年にあたって日本が租界を還附されたのをはじめ治外法權の撤廢、或ひは諸施策に對して深甚なる感謝の意を表するためでありました、中國が參戰いたしましたことについてしからば如何なる方法をもって聖戰完遂に協力するかとの疑惑を抱かれるや計りがたいのであるが、中國は微力ではあるけれども眞に友邦と、道義に立脚して中國の全力を傾倒することと、これが參戰の眞義であります　大東亞戰爭に起って中國が共に微力を捧げることは中國の任務といふよりも更に進んで名譽であると全國民は誇りを持ってゐる今日であります

このことは自分達同志が重慶を脫出して今日まで盡して來た日支事變の終熄と言ふことだけでなく再びかゝる事態が起らないよう大東亞の永久和平のために盡瘁しつゝあった理想が米英擊滅によるこの大東亞戰爭に進んで參戰することによって達成されることを強く認識し、また中國人はありつたけの力を傾けて日本と共に生き、共に死ぬ覺悟で聖戰に邁進してゐるのであります【寫眞＝記者團と會見の陳公博派大使】

消息

◇白矢仙吉氏（每日新報北京支社長）十五日午後七時十五分京城驛發『大陸』で赴任
◇原田大六氏（京畿道警察部長）內地の警察部長會議に出席のため十五日京城驛發東上

社說　決戰下の生活確立へ

一

決戰體制下の國民としては、不退轉の決意に起つと共に、一方にあっては深く身にしみついた風俗習慣、生活上の無駄といふやうなものも嚴重に再吟味して、戰力に編成し直すもの、速やかにかなぐり棄つべきものを區別し、その日常をも戰ひの線へとして眞劍なる姿を築かねばならない。この意味に於て、京城府內に於ける繁華街からネオンの影を消すことを、その方面の人達が、自發的に申合せたなどは、當然さうあるべき問題の一つを解決したに過ぎなくても決して輕微なことであるといはねばならない。この考へ方から、改めねばならぬものを數へると、いくつかを數へるのに氣がつくが衣と住の二つに關して特に焦眉の急を要する點があるやうに思はれる。我々が若し古いものに執着して、新しく踏み出すことが出來ないとしたら、民族的な發展は望めないのであるから舊態は取り棄てねばならないが今こそいゝ機會であると思ふ。

二

衣に就て云へば、內地人も半島人も同じ程度の自己反省と再吟味を必要とする、和服と稱するものは男女の何れを問はず、お洒落衣裳にはなっても、空襲下の活動に適するものではない。足に絡る裾、物を運ぶにさへ邪魔になる袂、これをもってしては空襲の場合にさへ自由を缺くに相違ない。半島婦人の白色とりどりの着衣も、平和な風景のなかにあってこそ美しい點景となり得ても、同じく活動的でない、また、白色の着物は、汚れが目につき、これを洗濯する爲に戰時下の惜しむべき勞力を浪費させる。半島婦人の勞力が工場に、農村に最も有効にふりむけられねばならぬ際、たゞ洗濯にのみ費されるのは勿體ないし、農民として全き勤勞を公にしてゐることにならなくて甚だ殘念である。何れも熱意を以て工夫し、民族發展の歷史と共に、後から來る者の爲に最もよきものを殘さねばならぬと切に思ふのである。

三

住に就ては餘りに多くをいはねばならぬし、云へば、根本的な改善案を示さねばならぬが、物資不足の折柄、それはたゞ理想の開陳に終るうらみがあるから後日に讓るとして、比較的溫暖の地域における溫突廢止だけは進んで實現して欲しいと思ふものだ。內地の東北地方ならびに長野縣の一部などにあっては半島と同じく零下廿度に近い極寒を經驗しつゝあっても、暖房を採るな炭火と焜爐によって暖をとる程度で、溫突を持たない。持たぬよりも持つことの方が進步してゐるものとも一應は考へられるが、このために歷史的な損失をなし來ったことに就てこの際考慮を拂ふ必要がある。冬期に於けるこの生活樣式は、不衞生であるばかりでなく、燃料の奢侈を助長する。その上まことに不經濟であって、これが爲に樹木の失はれる數はおそるべき數字に上るであらう。

四

半島の山々が密林を形成することは、半島が富むことであると共に、また農民の各自が安全なる生活を持ち得ることになる。それに反して、山を裸にすると、それは水源を失ひ、科學的な面に於て大きな損失をみると共に、水害と旱害のいづれにも見舞はれ易い危險にさらされるのである。裸山は降雨に際してその夥しい雨量を自然に貯へる力を失ひ、一氣に山肌を滑らす結果、たゞちに洪水となり、降雨の久しきに亘ってない場合には密林がこれを溪流として田畑に惠むやうな働きをなし得ない。從って洪水と旱害に農民が苦しむのは、溫突に執着して、徒らに冬期の安逸をむさぼる結果だといへる。深くこゝに思ひをいたし、根本的な生活樣式の改善をなして、戰ふ決意を示すと同時に、また永遠の繁榮をもはかるべきである。

決戰だ國債買って勝ち拔かう
國債引受會社　統制會
日本勸業證券　日興證券　川島屋證券　野村證券　山一證券　藤本證券　小池證券　共同證券

神經痛、中風で御難儀の方ハガキ下さい
試藥……無代送呈
イタム。ハレル。シビレル。スヂツリが速かに輕快に向ふ……
病院藥家を拔き血液の循環を良くすれば良快に導く、氏の御惱みの方はハガキ下さい、試藥を……無代で送って差し上げます。
藥價　廿四日分　送料共　金五圓五拾錢
大阪市天王寺區石ケ辻町　いぬねこや本店　庄村茂信　振替大阪八一八六五番

新女苑　五月號
四十五錢　東京京橋　實業之日本社
生活の美（特輯）
・新しき生活の萠生え……
・子を育む叡智……山下俊郎
・藝に徹する心……
・勤勞に貫く意志……高良富子
言葉の美しさ……高村光太郎
働く女たちの姿……中野好夫
西行……池田勉
嵐に立つ印度……
義士たちの母と妻……森銑三
汐ぬるむ北方戰線……松島實
大いなる光の下に（感化院の記）……眞杉靜枝
長篇小說　扶桑華……高見順
愛の詩人……
壽貞尼……吉田絃二郎
座談會　日本の儀禮
★次號より豫約購讀制となりますから、至急御取りつけの書店へ御申込置き下さい。

關口存男主宰
ドイツ語
一ケ年完結・月刊講座
文法談義・行列句……大野男二
一本・私は日本人である……荒木茂雄
讀本・チユラルミン……
初學者會話讀本……小西長明
文法・名詞の性……大野男二
文法・動詞の人稱變化……小西長明
獨逸單語の覺え方……關口存男
ドイツ語の發音……木吉寛
發音・明晰發音……關口存男
四月第一號・定價四拾錢　〒一錢

關口存男監修
Die Sprache
獨語文化
高級獨語雜誌
ハイデルベルヒとマンハイム……仁木壯雄
高級文法・INを伴ふ前置句……關口存男
死して成れよ……石中象治
講座欄
湖沼調査研究所……木吉寛
日本映畫論へ……大野男二
喋るな、批評せよ……荒木茂雄
兵器使術に休止なし……
四月號第一號・定價五拾錢　〒一錢
（部數に制限あり一ケ年の御購讀が便利です）
日光書院

眞珠灣
我が歷史的大戰果を目擊せる一ハワイ大學教授の眞珠灣爆擊の詳細な記錄にして全世界を震撼せしめた問題の書であり、我が千古不滅の武勳を傳へる必讀の書だ
（主要目次）ホノルルの騷擾・海軍基地爆碎さる・海兵隊基地・ホイラー飛行場・ヒッカム飛行場・眞珠灣潰滅・血液銀行・恐るべき眞珠灣・其他附錄
附錄　ロバーツ委員會報告書
四月下旬發賣　忽ち賣切れの見込　即刻書店へ御豫約乞ふ
ブレーク・クラーク原著　海軍少佐　廣瀨彥太　序及推薦　海軍大佐　平出英夫　譯及解說
敵側の見た我忠勇なる將兵の奮戰と決死的大急襲の眞相
Ｂ６判二四五頁　一・五〇　送一五
鱒書房　振替東京一四七二九

兵學者佐藤信淵
川越重昌著
著者は平田篤胤の門下たりし佐藤信淵に傾倒し研鑽實に十歲、古典より出て一貫兵學兩全を說く經綸偉大なる信淵思想の究明を實蹟踏破と未刊行の兵學家本讀破に求め、その全貌と神髓を體系的に論述せる信淵研究の綜合的決定版である
本文五三〇頁　定價六圓五〇錢
富野敬邦著　國家と大學　決戰下大學人必讀の好論著　價二・五〇　送一五
佐藤垢石著　鯉・鮒・公魚釣　好評つゞく新書　最新刊寫眞入　價二・五〇　送一五
醫學博士　岡田道一著　女性の生理と衞生　好評出來　價二・〇〇　送一五
鶴書房　東京日本橋本町　振替東京五五三二八

學生　四月第一號（定價四十錢）
南方圏の再認識……波多尚
學問を求める心……
學徒の心身錬成……大谷武一
尊皇攘夷論……
陸軍諸學校の身體檢査……
海軍生徒受驗生の爲に……
基礎的錬成講座　國史……　數學……高見豐　英語……
本年度入試問題の研究　國語……小柴値一　漢文……澤田總淸　理科……藤木源吾　英語……佐藤正治
靑年立志　進學制限の再檢討……滿田巖　戰時下の傍系進學……
日本科學　南方の動物……泉四郎
模擬試驗課題、學生ニュース、質問應答
近くの書店へすぐ御申込下さい
東京麴町區富士見町　研究社

戰時財政を強化
田中政務總監挨拶
朝鮮酒類委員會

朝鮮酒類委員會に於ける委員長田中政務總監の挨拶要旨は左の如くである

本年內地においては戰時下國民生活の確保に留意しつゝ消費の抑制、購買力の吸收をはかり併せて國庫收入を增加して戰時財政を強化するために間接税を中心とする增税を實施した

朝鮮に於いても朝鮮の特殊事情を考慮しつゝ內地のこの趣旨に全面的に照應し間接税を中心とする增税を實施することとしその中內地と同樣に物品税、遊興飲食税及び入場税については三月一日より酒税等その他の增税及び特別行爲税、織物税の新税については四月一日より實施した

而して右增税中酒税について大幅の增税を實施するに當り、濁酒、果實酒及び再製酒についてはこれが品質に從ひ等級を設けその上級のものに對しては相當高度の税率を課することとし、又戰時下國家重要産業方面に從事する勞務者等に對し、重點的に配給する淸酒、麥酒、燒酎及び合成淸酒については生産增強の緊要性に鑑み一定數量に限り特にその税率を低くすることとしたのである

而して右酒類の等級については酒類委員會に諮問してこれを決定することに法令上定めてゐるので此度本委員會を設けた次第である。酒類委員會に於いては更に酒類配給の根本方針に付いても御審議を願ふことにしたいと思ふ。酒類の等級の決定は之により業者の酒税の負擔及び販賣價格に相當大なる影響を與すと共に酒造業者の經營にも關連すると大であるのでこれが決定は相當愼重を要するのである

又朝鮮の酒造は御承知の通り昭和十四年の旱害後食糧對策に順應し相當の減石を致して居るのであるが戰時下最も緊要事たる食糧對策の見地より本酒造年度に於いては更に之を減石するの已むなきに至つて居るのである、然し乍ら酒類が今日國民生活上必需物資であり、特に時局産業方面に從事する勞務者等の活動の源泉として不可缺の要素であり、之が配給如何は直ちに國防上影響するところが大となるので、今日非常に不足して居る酒類の配給を如何に實行するかは相當重要なる課題である

今回の酒税增徴に當りこの勞務者に對する酒類の配給を確保することを念とし特に若干數量を低い價格を以て配給することに措置したのも固より國家重要産業に從事する勞務者等に對し生産の增強に資せしむるに遺憾なからしむると共に生活費の昂騰を可及的避けしめんが爲の心遣りに外ならぬのである、酒類の品質に付いては食糧對策上原料の調整配合及び選擇等に制約を免れなくされて居るのであるが、官民一致研究努力の結果により中には內地産高級酒に劣らざる優秀品も多く釀造してゐる

本委員會に今日諮問されてゐる議案は酒類配給計畫設定方針、重要産業用酒類の特配計畫及び酒類の等級決定の三件である

酒類配給計畫設定
財務局で內容を發表

決戰體制の基本は國民生活が淸新かつ簡素なうちに必勝の氣魄を盛つた決戰生活の新な樣式の確立にあるとして各般の推進措置が講ぜられてゐるが、總督府は十三日午後二時から田中政務總監を委員長とした朝鮮酒類委員會を第二會議室に開催、酒類配給計畫設定方針、重要産業用酒類の特配計畫、酒類の等級決定の三件を諮問し、生産增強方面に重點を置いた新配給計畫を策定したほか緊要なる國民の決戰生活樣式に卽した三答申を得、これに基きそれ〲實施することとなり十四日財務局からその內容と總額を發表し、方途を明示するとともに協力を要請した

すなはち酒類配給計畫については十七酒造年度の造石高が一般に擧らなかつた等の關係から以前に比し減少をみたが、これを重點的に重要産業方面に集め特配し、總額に於いても增加、中級の三段階は酒税免除による價格特配をする、家庭用酒は國民生活の現狀からこれを維持確保する、この方策から業務用を抑制することとし削減した分から之を振向ける、の三點を基礎にし地域別、團體別、品質別、時期別に配給計畫を樹立し併せて輸送對策を確立する、重要産業用酒類の特配計畫は十六酒造年度實績三萬六千五百石から增配し內三〇パーセント程度については特配先每に價格特配をなすこととなつた、酒類の等級決定はこれを專門委員會において審議、審査方針を決定の後により從來上等、並等（事實上なく上等一本）別を三級の三段階（事實上は二段階で從來の一段に上級階級を設けたことになる）とし、一級品（十六酒造年度における古酒にして手持品のみ）につき審査の結果卅三品を指定、他は二級品とした（三級品なし、優良酒でもすでに醸造濟となり手持品のみが審査對象であつたため除外されることゝなつた）諮問三事項に對する答申に基いて決定せる各計畫次の通り

配給計畫設定方針

酒類配給計畫は今次酒税增徴に照應し需給の適合を圖ると共に重點配給の強化を圖り決戰的段階における諸般の要請に副はしむることを目的とし概ね左の方針に依り設定すること

一、用途別割當方針は左に依ること

（一）國家重要産業に從事する勞務者等に付ては生産增強の緊要性に鑑み可及的其の數量を增加すること

（二）一般家庭用に對する割當は國民生活の現狀に鑑み可及的現行配給數量の確保に努むること

（三）業務用に對する割當は節約の強調、消費抑制の必要等に鑑み可及的之を壓縮すること

（四）入退營、婚禮、葬儀等の場合に於ける行事に對しては一定數量を配給することとし其の所要數量を確保すること

二、國家重要産業の勞務者等に對する特配酒類の中特定の酒類に付ては生産の增強に資すると共に生活費の昂騰を可及的避けしむる等の爲一定數量を限り酒税を輕減したる低廉價格の酒類を配給すること

三、家庭用酒及業務用酒に付ては既往の消費實績等を基準として地域別、團體別配給計畫を樹立するものとす

四、高率の酒税を課する酒類の割當に付ては成る可く消費者の負擔能力に適合せしむる爲地域別用途別、購買力の大小等を勘案し適當なる品質別配給計畫を樹立するものとす

五、季節的需給の調整を圖る爲各酒類の生産及消費の實績、輸送及貯藏上の關係並に各酒類の組合せ配給等を勘案し時期別配給計畫を樹立するものとす

六、輸送力の強化に資する爲出來得る限り移動數量を減少する方針を執り一般酒以外の酒類に付ては成るべく近接道より之を補充せしめ交錯輸送を排除する樣適當なる移送計畫を樹立するものとす

七、配給の實際に當りては左の事項に付必要なる措置を講ずるものとす

（一）各消費者に對する家庭用酒の配給は地方の事情に應じ切符制、通帳制其の他適宜の方法に依り原則として從來の消費實績を基準とし成年男子を對象として之を行ふこと

（二）各接客業者に對する業務用酒の配給は既往の實績を基準として之を行ふこととするも其の業態に應じ奢侈的色彩強きものに付ては規正率を高くし一般大衆向と認めらるるものに付ては規正率を比較的緩和する等或程度の差等を設くること

八、各酒類の配給計畫の實行を的確且合理的ならしむる爲配給及販賣の機構其の他に付ては研究の上一層之が適正圓滑を期すること

九、前記各項に依る酒類配給計畫の遂行を圓滑且確實ならしむる爲配給及輸送に付適當なる計畫を樹て之に要する各種資材等の確保を期すること

重要産業用酒類の特配計畫

第一　方針

國家重要産業に從事する勞務者等に對し生産の增強に資する爲重點的に酒類の特別配給を行ふと共に生活費の昂騰を可及的避けしむる爲右特配酒類の內一定數量の特定酒類を限り酒税を輕減したる低廉價格の酒類を特別に配給すること

但し生産成績等に依り獎勵的特別配給を行ふの途を考慮すること

酒類中家庭用及業務用以外に酒類を特別に配給することを特配と稱し其の內普通價格に依る特配外特に酒税を輕減したる低廉價格の酒類を配給するとを價格特配と稱す

第二　特配すべき勞務者等の範圍

一、工場事業場勞務者

（一）軍作業廳の勞務者

（二）工場事業場管理令に依る政府管理工場事業場の勞務者

（三）鐵鋼、石炭、輕金屬、船舶及航空機に關する工場事業並に重要鑛山の勞務者

（四）港灣及鐵道軌道關係荷役勞務者

（五）軍部工事及（一）乃至（三）の工場事業場の建設に從事する勞務者

（六）其の他重要時局産業、交通運輸業等に從事する勞務者にして特に供給を必要と認むる者

二、農林水産業從業者にして特に供給を必要と認むる者

三、一及二に該當せざる者にして特に供給を必要と認むる者

第三　特配すべき酒類の種類及數量

（一）特配すべき酒類の種類は淸酒、麥酒、燒酎、合成淸酒及濁酒の五種とし之が一年間に於ける配給見込數量は前年に於ける配給實績を考慮し總量に於て相當程度の增加を圖ると共に濁酒に付ては品質上中央に於ける一元的統制困難なるに付地方の實情に依り適宜之を行はしむること

（二）配給時期は勞務の狀態に應じ每月若は隔月又は適當なる時期を選び配給すること

（三）價格特配を爲すべき酒類の種類は淸酒、麥酒、燒酎及合成淸酒の四種とし之が一年間に於ける配給見込數量は各種類並に特配先每に特配酒類の數量の三割程度とすること

第四　配給手續

（一）配給は原則として朝鮮中央酒類配給組合を通じて行ふこととし各工場事業場每に配給責任者を定め當該配給責任者の發行したる切符に依り一定の配給所より配給せしむることゝすること

（二）特配酒類の增加に伴ひ既存小賣業者に大なる影響を及ぼさざる樣適當考慮すること

審査方針

朝鮮酒類委員會等級審査專門委員において決定採用した審査方針次の通り

一、淸酒

（一）朝鮮內に於て製造したる淸酒にして純酒精の容量十六度以上、原エキス分三十一度以上の成分規格を有する淸酒にして感能審査に合格したるものを第一級とすること

（二）朝鮮內に於て製造したる淸酒にして純酒精の容量十五度以上、原エキス分二十九度以上の成分規格を有する淸酒にして第一級に該當せざるものは之を第二級とすること

（三）朝鮮內に於て製造したる淸酒にして第一級及第二級に該當せざるものは之を第三級とすること

（四）內地より移入したる淸酒に付ては當分の內之を第二級とすること

二、果實酒

（一）朝鮮內に於て製造したる果實酒にして純酒精の容量十度以上の成分規格を有する果實酒にして感能審査に合格したるものを第一級とすること

（二）朝鮮內に於て製造したる果實酒にして第一級に該當せざる果實酒は第二級とすること

（三）內地より移入したる果實酒に付ては前二號に準ずること

三、再製酒

（一）朝鮮內において製造したる其の他の再製酒にして夫々當該酒類に特有の成分規格を有し感能審査に合格したるものを第一級とすること

（二）朝鮮內において製造したる其の他の再製酒にして第一級及第三級に該當せざるその他の再製酒は之を第二級とすること

（三）朝鮮內において製造したるその他の再製酒にして第三級と爲すを相當と認めらるゝものはこれを第三級とすること

（四）內地より移入したる其の他の再製酒に付ては前三號に準ずること

一級品

一級品として決定せる淸酒（昭和十六酒造年度仕込のもの）次の通り

特撰三巴自慢一九、〇〇〇京城府三巴酒造合資會社▲銀千代三〇、四〇〇同繁藤酒造合名會社▲特撰忠誠二二、九〇〇大田府株式會社長尾商店▲同五、五〇〇同同▲特撰朝の花一五、〇〇〇論山郡朝鮮酒造株式會社▲菊醇香妻二〇、二〇〇群山府香原助太郎▲同一五、六〇〇同同▲同二〇、一〇〇同同▲同一四、九〇同▲特撰朝の花一八、五〇〇群山府朝鮮酒造株式會社▲吟醸萬國二、二〇〇同上野源七▲特撰松上露一、三〇〇大邱府小瀨喜代三郎▲ワカマツ正宗七、六〇〇同合資會社若松商會▲特撰明泉四、九〇〇同中村末次郎▲特撰富の鶴三、〇〇〇尚州郡讃岐酒造株式會社▲カツブ了海一二、九〇〇釜山府松岡甚太▲辭香二五、二〇〇馬山府平井儀六▲瑞榮七、八〇〇馬山府選藤軍司▲金盃瀧鶴二、六〇〇同若田厚太郎▲黑松艶絲一、一〇〇同村崎仁三郎▲特撰月の雨一七、五〇〇同松本直▲飛梅一九、六〇〇平壤府松岡吉次▲同一一〇、八〇〇同同▲銀千代二九、六〇〇同繁藤酒造合名會社▲同二九、三〇〇同同▲同三一、〇〇〇同同▲特製江白梅九、〇〇〇新義州府角正次▲金剛美人四、五〇〇元山府元山酒造株式會社▲同九、〇〇〇同▲同二五、六〇〇同▲醉春一一、四〇〇同岡本酒造合資會社▲興亞魂一〇、二〇〇同佐々木準三郎▲白頭雪二、七〇〇咸興府咸興淸酒合資會社

第一級と決定せる果實酒は次の通り

（一）鮮産品▲ミツワ赤生葡萄酒純酒精の容量一〇度以上▲ミツワ白生葡萄酒同一〇同▲オーケー生葡萄酒赤同一〇同▲SB印トクゲン、ロートワイン同一〇同

（二）移入品▲謝恩シャンパン純酒精の容量一〇度以上▲スペシャルワイン同同▲金札皇國葡萄酒同一〇同▲銀札皇國葡萄酒同一〇同▲ヘルメスデリカ（赤）同一〇同▲赤ピユアワインルミエル同一〇同

第一級と決定せる其の他の再製酒は次の通り

（一）鮮産品▲黃金鵄印林檎酒純酒精の容量一四度以上▲黃金鵄印グースベリー酒同一二同▲SB印トクゲン、スタゲルベールワイン同一二同▲SB印トクゲン、ヨハネスベールワイン同一二同▲ミツワ赤甘味葡萄酒同一四同▲ミツワ白甘味葡萄酒同一四同▲加純果實葡萄酒同一四同▲加甘味白純葡萄酒同一四同

（二）移入品▲ヘルメスデリカ（白）純酒精容量一四度以上エキス分一四度以上▲特選皇國ポートワイン同一四同同一四同▲ニツポンパン同一四同同一四同▲ニツカ林檎酒同一三同同一四同▲[illegible]ポンカン同四〇同▲養命酒同一八同二

三級品と決定せる其の他の再製酒は次の通り

（一）鮮産品▲赤十字葡萄酒、純酒精の容量五度以上、エキス分五度以上▲赤十字葡萄酒同同▲金札鋼葡萄酒同同

（二）移入品▲大黑葡萄酒、純酒精の容量一四度以上、エキス分一四度以上

單獨營業も同步調
織物課税標準決る

四月一日から實施した朝鮮織物税について京城税務署では課税標準が多岐多樣で一律に決定し得ない狀態にあるので實施後數次に亘つて業者と會合、池田署長以下主務員が懇切に業者の指導を行つてゐたが、今回は特に從來組合に加入せず單獨で營業を行つてゐた方面にまで課税する必要が生じたので同署では十四日次のやうに課税織物の種類及び課税率の標準を公示して單獨營業者も組合加入者と同一步調の下に明るい納税義務を負擔させることになつた

一、課税を免除されるもの▲綿、黃麻、紙、藺製、スフ等で原料の重量割合が九割五分以上の織物▲ビス絲（マルチ絲を除く）のその織物又はビス絲と綿、黃麻、スフ等の原料で織つた平織のもので特に指定されたもの

二、税率▲生産高の三割販賣價格の一割▲人絹織物及び更生絲織物で指定された品、又は襟帶地ホースは五分

三、持越課税▲織物税は製造場又は保税地域より取引の際引取人が納税する▲一日現在業者が所持する織物に對しては一日現在のまゝ製造場から引取つたものと看做して課税を行ふ

四、持越課税の申告その他▲一日現在所持する織物の種別、品名每に價格數量及び貯藏の場所を申告する▲一日以前に發送して運送途中にある品は到着先で取纏めて申告する▲申告書記載織物の價格、內地品は朝鮮の元卸價格を一率に次の割合を乘じて算出する（イ）絹織物、毛織物は百九分の百（ロ）絹交織、人絹織物、人絹交織物の最高品は百八分の百▲同高級品並びに本品は百五分の百（ニ）元卸價格のないものでの小賣價格のあるものは絹織物六割八分、毛織物六割五分、其他は六割を小賣價格に乘じて算出する▲申告期限は本月末日

五、記帳の義務▲販賣業者は受入日、種別、品名、數量、價格、受入先、販賣場所、同月日、販賣價格、品名、數量を記載帳簿をうける際現品と合致するやう記載する

六、申告義務▲織物販賣業者は住所氏名、名稱、販賣場、營業種別、開業年月日▲一日以前よりの業者もその旨を申告▲販賣の廢止、相續、讓受並びに販賣場所移轉についてはその都度申告する

七、其の他▲持越課税を受くべき織物は所轄署申告提出と同時に税額相當額の納税擔保（金錢又は國債）を提供した後、檢査濟證を貼附して販賣する▲其の他不明の點は税務署へ問合せのこと

躍進の黑鉛炭坑
炭質は北鮮で第一
【上】平南北炭田と元山北港
福田特派員

各種工業生産力擴充の原動力となるべき石炭增産の緊要性は、半島鑛業の勃興につれて益々加重せられ、特に朝鮮に無盡藏といはれる無煙炭の積極的開發增産を必要とするに至つたので、總督府に於いては昭和十五年以來生産補償、新坑開發助成、增産獎勵の三本建で無煙炭の增産に拍車をかけて來たが、時局の推移に伴ふ生産條件の惡化に照應して本年度から增産獎勵金を生産補償金に統合し、二本建の增産獎勵政策を推進することになつた

而して小磯總督は就任以來鮮産無煙炭の積極的增産および利用強化を強調、昭和十八年度劈頭の知事會議席上においても石炭に於ては有煙炭偏重の弊を矯めて極力無煙炭の利用を獎勵するなど、あらゆる創意工夫を消費面に加へねばならぬ旨の訓示を行ひ、今後における半島燃料政策の方向を明かにした、無煙炭の開發增産と並行すべき利用強化の方策については、總督府に關係官民を委員とする無煙炭利用強化委員會を新設、同委員會は無煙炭の認識昂揚、鐵道用炭への轉換、一般工業用並に事業場用燃料への轉換、煉炭增産並に家庭燃料への轉換ほか十項目に亘る利用增強に關する本府諮問案に答申、本府は直ちに之を採りあげて逐次實踐に移しつゝある

現在鮮內における無煙炭の出炭量は年〇〇萬トンと推定され、その內七割は朝鮮無煙炭會社經營の平南、北炭田から産出されるのである、本府當局は本年度無煙炭の增産施策に重點主義をとり、平南北炭田をその增産區域として總力をこの地域へ結集することに根本方針を決定した、斯くて平南、北炭田の重要性とその增産使命はますます重きを加へ、今後に於ける無煙炭の用途擴大と相俟つて兩炭田の積極的開發を要請されるに至つたので記者は現地における增産の現狀を視察した、以下はその報告記である

黑鉛炭坑

同炭坑は平南炭田の中核でその埋藏量は〇〇トン、平南炭田中埋藏量は最も豐富といはれ、現在年間出炭量は〇〇トン、炭坑設備も平南炭田中最優秀と折紙をつけられてゐる、同炭坑は平南江東郡三登面上東里にあるが、その鑛區は昭和八年三神鑛業所三登出張所を設置したことに始まり、その一部として黑鉛炭坑の採掘を開始した、同炭坑は海拔三百卅米、當初露頭を調査した結果〇トンを發見、引續き北方調査を行ひ同十二年初めて黑鉛炭坑として誕生した

而して昭和十二年までは鑛坑區の調査を行ひ十三年以後は企業整備および鑛脈の深度を調査し、同十四年六月同社經營の西鮮中央鐵道によつて黑鉛から勝湖里へ向け初荷を出して營業を開始した、當時に比べて從業員の數も三倍強に達してゐる

炭質は平北炭田中第一位と稱されるほどで新倉炭坑と隣同樣で其熱量は六千八百カロリー乃至七千カロリー程度である、黑鉛炭は粉炭が多く可燃性揮發分が少いので製鐵用に好適とされ、その他セメント製造、各種煉炭、マセツク、小型炭など、僅かにコークス代用などに使用されるのみでなく、最近は燃料用燃料は交通用炭、自動車ガス發生爐用炭などにも使用され、さらに船舶發動機用ピツチに用ひるべく目下熱心に研究が進められてゐる、

黑鉛炭坑は路積、黑鉛、源寺、高潤、石歲の五坑より形成されてゐる、同坑は垂平坑で炭層は東より西へ平均五十度の傾斜面にあり、延長は南北約八キロ、一部は西へ丁字型に四キロ、石炭の厚みは四米乃至六米で山の頂上卅米毎に垂平坑があり、下から上へ炭層に沿うて採掘するのであるが、採掘方法は最新式といはれる臨昇充塡式採掘法を採用してゐる

採掘された無煙炭は國鐵二本、第二本の輸送ルートによつて發炭されるのである

朝鮮吳羽紡
大田進出確定

かねて朝鮮への進出を傳へられてゐた吳羽紡績は、諸般の設立準備を完了したので、忠南大田に敷地十五萬坪を買收して同社工場を建設することに決定、本夏六月ごろ着工して本年中に完成させる豫定である、なほ朝鮮吳羽紡績は內地吳羽の子會社で資本金は五百萬圓（半額拂込）大田工場に紡機二萬錘、織機五百臺を設備して大衆用綿布、紡絲織布、染色加工などを行ふことになつてゐる

鋼材共販の巡廻說明班派遣

鋼材の共販制は朝鮮に於いても一日から實施されたが鐵鋼統制會支部並に鐵鋼販賣店ではこれを機として實需者へ配給計畫化の趣旨徹底、發券手續き及び實需者との連絡を圖り併せて鮮內各地の需要實態を把握するため本月下旬、南鮮を振出しに全鮮に亘り巡回說明班を派遣することとなつた

陸軍・大學病院御採用
純正 酵母劑
●消化及び食慾を強盛し便通を調整
●V.B複体・消化素・榮養素等を整含
エンツァイマ
大阪今橋貳丁目　エンツァイマ製藥會社

株式市況（十四日後場）

朝取短期

銘柄	大引	高値	安値
高周波	[illegible]·八	[illegible]·八	[illegible]·七
龍工新	—	—	—
岩付	[illegible]·四	[illegible]·五	[illegible]·四
東拓金	[illegible]·〇	[illegible]·〇	[illegible]·〇
小林	[illegible]·四	[illegible]·四	[illegible]·四
鐘新	[illegible]·七	[illegible]·七	[illegible]·五
製錬	—	—	—
マグネ	—	—	—
三重新	[illegible]·四	[illegible]·四	[illegible]·四

大株短期（大引 二·[illegible]分）

銘柄	大引	高値	安値
鐘新	[illegible]·二	[illegible]·三	[illegible]·九
鐘紡	一二八·八	一二八·九	一二八·四
東紡	一四〇·四	一四〇·四	一三九·九
日石	[illegible]·二	[illegible]·一	[illegible]·一
日立	八九·四	八九·七	八九·四
帝人新	六九·八	六九·八	六九·五
郵船	九〇·五	九〇·六	九〇·四
商船	[illegible]·八	[illegible]·九	[illegible]·八
三重工	九二·五	九二·七	九二·五
神戸鋼	八九·三	八九·四	八九·三

東株短期（大引 二·四〇分）

銘柄	大引	高値	安値
郵船新	[illegible]·四	[illegible]·五	[illegible]·一
三重工	九二·三	九二·三	九二·二
鐘新	[illegible]·一	[illegible]·一	[illegible]·〇
帝人新	六九·六	六九·六	六九·五
日立	八九·五	八九·五	八九·五
鋼管	—	—	—
日石	六八·四	六八·四	六八·四

大引 二·四七分

隨想錄

翼贊の大精神によつて各種團體が統制され、一本に貫いた強力なものになるのは、當然のことだといふ外ない▲この場合、組織を運用するものは作り上げられた機構の自働によるのではなく、あくまでその中樞に座を占めた人の力であるから、人の選擇は大切である▲ある人物の過去の實績が認められる場合もあれば、新人が擡頭することもあらう、その行き方はどちらであつても、一切の『わたくし』があつてはならぬのが、翼贊を標榜する團體の中心人物選擇上の必須條件と思ふ▲出たくない人も、御用の爲には出ねばならぬし、惜しい人物でも私心を以て行動した歷史のあるものには御遠慮を願ふのほかはない。仕事は皆でするから、中心に立つものは公平で、時局への認識が正しければいゝ▲さて、現在までの實情に見ると、これが、これがといふ人物を案外淸算しきれないでゐる傾向だ。そして、皆が『文句をいふ時でないから』として、さし控へるのを逆用する風もある▲言あげせずして、ひたむきに協力しようとする人の眞心を踏みにじることがあつたら大變だ▲この點だけでゞも、中心人物の選擇は大切である。これを誤れば石が流れて木の葉の沈む危險も招來するだらう▲勿論、この點に就ては遺憾なきを期してゐる。しかし、網の目をくゞつて逃げる小魚は何うするとも出來ない場合がありうる▲その嘆きをなくするところに政治だとして『わたくし』を一切[illegible]させぬやうに、お互ひが他めあはねばならない。

京日俳壇　高濱虛子選

一寸とした庭を繕ひ緣を守る　興南　土田卓北

桃林に住ひて垣根繕へる　京城　北川左人

強東風や遙に雪の出雲富士
春雨や人丸といふ小さき碑　興南　勝森功樹郎

アリナレの春は逝しや猫柳
攝靆雀我ふるさとはさびれけり　群山　池田虫耳

霽嶺を背に展げたる海苔場かな
馬に乘り赴任の吏たり春の雁

文化
戰ふ文人（3）
朝鮮文人報國會の結成
辛島驍

朝鮮における新日本文學の樹立が、朝鮮文壇の當面の責務であることはいふまでもない。

朝鮮出身の文人の日本文學の確立に於ける限り、文學用語が國語であるべきことは當然であるにしても、國語を離れて日本文學が考へられないことであるし、また大東亞共榮圈の共通語として、日本語が考へられてゐる今日、國語を離れた日本文學があらう筈もないのであるから、朝鮮出身の作家諸氏は、此處のところ何よりも先づ國語を完全に自分のものにすることに特別の努力を拂はなければならない。

已に直接に國語による創作の可能性は、今般總督賞を授與せられた金村龍濟氏の詩、聯盟賞を與へられた牧洋氏、朝鮮藝術賞を贈られた李無影氏らの小說、その他幾多既成新人作家の作品によつて、見事に證明されてゐる。殘されてゐることは、この先達に續く各自の努力の點だけである。

或る人々は、生活面における國語の實際の普及が、未だ充分でないことを理由にして、諺文との別れ難さを主張するかも知れないが、その場合とは、國語との關聯の仕方が違ふのであつて、耳では朝鮮語で聽き、口では朝鮮語で語つてゐても、文章では國語で表現出來るのである。前述の李無影氏も牧氏もそれを試みて成功してゐる。そのうへ、我々は現在の朝鮮の文學讀者對象が、已に完全に國語圈內にあることを忘れてはならない。從つて朝鮮に於ける文學は、今後いつでも國語で印刷されたものでなければならない。特殊な目的をもつた極めて大衆通俗的な作品の場合は例外であるが、一般には作家がよし諺文でしか書けない人であらうとも、またその雜誌新聞が、一般に諺文で編輯されてゐようとも、諺文で文學作品が發表されるやうなことがあつては、朝鮮文壇の正しい在り方ではない。このことは將來の一部作家にとつては殘酷なことであるが、今後は朝鮮の作家は、純乎たる國語による優秀作品を作り出すことに身血を傾注すべきで、朝鮮に於ける日本文學が、國語を離れてあるべきでないことは、この際特に明確にして置きたい。

不連續線
置換へ

標語といふものは、なかなかむつかしい。ある一つの字句を上にするか、下にするかによつて、ぐつと引き立つて來たり、折角の意味が弱くなつたりすることがある。今、交通訓練のため、街頭に出てゐる立看板の『混雜は自分勝手の一人から』も、いひたい趣旨はわかるけれど、かう書き換へた方がよくないか。『混雜は自分一人の勝手から』

新映畫評
『敵機空襲』　松竹作品

☆…松竹作品『敵機空襲』―來ることあるべき敵機大空襲に備へて防空の心構へは斯くあるべしと考へた國策映畫の一つであるが生硬さは微塵もなく、市井の小市民の生活を通じて興味本位に描いてゐる

☆…防空訓練空襲時の町官民活動、或は戰時下の家庭生活等、かなり實際に卽して扱つたのもよく、他にも殊更らしい嘘のないのは效果的だつたが物語と空襲の結び合ひが不充分なのは演出の吉村、澁谷、野村三監督の呼吸が合つてゐないためであらう

☆…ともあれ空襲に對する心構へを促すための意圖には充分かなつてをり、またこの種映畫の條件であつた『魅せる』といふ重點をはづしてゐない、主なる出演者は河村、田中（絹）上原、高峰等適所といひ得よう

榮養知識の圖解展

近く北鮮淸津に開設の北鮮科學博物館に別館として設立の榮養科學部の壁面を飾る榮養知識に關する圖解約八十點を揭げ、北鮮科學博物館と總旅聯盟主催で十六日（金）から廿日まで三越五階會場に陳列する

同陳列品は京城醫專教授成田不二生氏の創案になつたもので、一般大衆の啓蒙用として懇切詳細を極め、初日には特に成田教授が說明に當ることになつてゐる

文化だより

◇細川幼舟氏（日本畫家）十四日京城驛着淸津へ

今ぞ決戰
國策に合致せる新しき投資精神の確立へ！
案內書贈呈
大原證券
京城府明治町二丁目

肺患へ光明
贈呈
肺病、肋膜等の結核に對し本部創唱の療法が異常な好成績をあげてゐるのは只表面の症狀を治すことを目的とする今迄の療法と異り、病原へ目標をおき、多數の治療、研究を基礎に療養、食餌、藥劑の研究を完成した賜である
惱める者はこの新聞名を附記し申込次第貴重な參考資料●罹病期（自數十頁の原理說明書）●大快報●座談會記錄等一切無代進呈す。
大阪府及含治療會根　現德乃道相談部

銃後婦人の身だしなみには…！
高貴藥配合の藥効に依り・ニキビ・ソバカス・シミ・を取り日燒・脂顏を防ぎ　キメを細かに…シンから生き生きとした健康美を發揮して眞に若く美しくなる！
モビアン洗顏クリーム
モビアン藥用クリーム
（各地藥店・化粧品店・百貨店に有り）
大阪・京城・木浦　東洋商會

家庭温泉藥
シロラクヂン
神經痛、胃腸病
婦人病、腺病質
ロイマチス、痔
行水の一浴は夏季の皮膚病あせもたゞれを防ぐ
大阪市　盛大堂
盛大堂製藥所

國民文學
義務教育になるまで
（四月號）70錢（送料2錢）
松月秀雄　高橋濱吉　野中齋之助　成尚勳　崔載瑞
申淑・舟・加藤灌覺
滿洲文學・德田馨
このひとすぢ・吳禎民
國境・鄭飛石
美術時評・尹喜淳
朝鮮研究委員會・福田淸人
シナリオ　孟進士邸の慶事・吳泳鎭
創作　土・龍・李無影
創作　太白山脈・金史良
人文社
京城府光化門通二一〇　振替京城一八六三〇

婦人公論
5月號　本日發賣
富士山　詩　草野心平
★お座敷芝居（寫眞と文）　織田作之助
★現下の家庭防空　上田誠一
職場と家庭生活　―女子勤勞の現實―　池田きみ
連載　大和路・信濃路　堀辰雄　從軍手帖　石川達三
女性美　高橋健二
山々の春　河野不二子
★寫眞　五月の旬　荻原井泉水
★寫眞と文　日本の鳥　內田淸之助
新しい環境に處して　南方の思想　三木淸
母與謝野晶子　森藤子
鹿持雅澄の妻　尾形裕康
★小說　軍艦獻納　庸井榮
★小說　色紙　網野菊
自己の超克　日本人の信仰　龜井勝一郎
古典劇と女性　大村弘代子
毎日の言葉　柳田國男
★舊友禮讃　池部鈞
★このごろの山村生活　江馬三枝子
座談會　高田保馬博士と訊く　困苦に耐へる生活　佐久千代子　高良富子　岩野喜々代
45錢

公示催告

昭和十八年民申第六五九號

京城府北米倉町[illegible]　申立人　西野商店[illegible]

[illegible]

商業登記公告

[illegible]

京城師團報道部員福永憲中佐放送

資材施設の整備と防空教育の徹底
毅然と戰ふ者は勝つ

小癪にもわれに來襲、戰ひを挑んだ〃四月十八日〃が巡つて來た、あれから一年、敵國の汚名を挽回せんと徒らに徹底攻を策謀する敵米はわが鐵壁の防衛の前に萎縮してゐる、しかし敵機を懲める近代戰では敵機の來襲はまた當然で覺悟しなければならない、われらはこの來襲に何等臆れることなく更に鐵壁の防衛陣を固め第一線に活躍する將兵に後顧の憂ひをなからしめなければならぬと十四日午後六時卅分から京城師團報道部員福永憲中佐は京城中央放送局から防空必勝の心構へについて放送を行つた【寫眞＝福永中佐】

敵機は狙つてゐる

忘れもせぬ四月十八日から茲に一年、この間米機來襲のなかつたことは敵が漫然にして手を拱いてゐたからではなく、我が第一線將兵の敢闘、皆がそれを敢てさせなかつたのである、故に我らは日々の安穩な生活をこれら將士及び銃後防空陣の人々に深く感謝し感ふる所がなければならぬ

即ち確固なる防空意識を昂揚し徹底せる防空生活を實施し、周到なる準備と、不斷の訓練とにより必勝不敗の鐵壁の防空態勢を確立しもつて國土防衛に關し第一線將兵に後顧の憂ひ無からしめねばならぬのである、これらの點に關して我等は顧みて愧づる所ないであらうか、聞く所によれば内地では夜も常に警戒管制態度の明るさで午後九時頃からは出歩く人もないといふ

又防空訓練は夜間、薄暮、拂曉等に頻々行はれ、銃後の婦人達が勇ましく活躍してゐるともいふ又新聞雜誌の報道を見ても防空に關する記事が續く、率直且明快に防空の心得へを說いてゐる、是等は凡て軍の指令に據るに非ずして國民の自發と自覺の結果、自發的に行はれてゐるものであり眞劍そのものゝ相である

朝鮮は果して如何であらうか、不夜城の偉觀は依然たる大京城の赤い灯、青い灯、鈴蘭燈、眩くまで流れる人波、戰前も現在も變りない人々の物腰服裝等々、反省すべき點が多いのではないか

敵の本土を空襲し直接其の戰爭遂行の意欲を覆滅せんとするのは近時國家總力戰に於ける顯著な趨向であつて特に緒戰以來の大敗北を一擧に挽回せんと焦慮しつゝある米國が尨大なる物的威力を恃みて空襲を以て我本土を焦土と化し戰爭遂行上重要なる物的戰力の壞滅を企圖すると共に國民の戰爭遂行意欲を挫折せしめようと企圖しあるは想像に難くない所である、故に宜しく大いに防空意識を昂揚し防空態勢を完璧し、如何なる大空襲に直面しても微動だもせぬ必勝の信念を確立し『何時でも來い』『撃ちてし止まむ』といふ戰闘精神に徹すべきである

心構へ、準備、訓練

そこで防空必勝を期する爲には心構へ、準備、訓練の三位一體の態勢を必要とする、國民中には如何に敵が來襲しても監視隊あり高射砲隊あり防空飛行隊ありだから本土に近接すれば直ぐ發見し上空に來れば全部撃墜して仕舞ふか或は撃退して仕舞ふだらうと安心して居る人が絶無ではなからう、併し軍防空に對する期待度といふものに就いては正しい認識を持たねばならぬ、何處の國の戰例を見ても來襲敵機が悉く撃墜された例はないのであつて、寧ろ大部分が目的を達して歸つて居る

今度の歐洲戰爭の例によつても要地防空に於て來襲敵機と擊墜された敵機との比率は平均一〇〇對一〇位である、これ故に防空部隊を信頼すると共に民防空が絶對必要となる

されば我らは眞に國民皆兵、國土即ち陣地の思想に徹して國土を鞏固に武裝すると共に國民も亦武裝して防空に關し徹底的に訓練しなければならぬ、凡そ戰爭にやり直しはないのであつて、防空も亦一度失敗したならば最早取返しはつかぬのであるのだから、我等はいやが上にも準備と訓練とに努めて不覺をとらぬ事が肝要である

防空教育の徹底

それが爲には從來のやうな上からの指令による防空演習や防空上の注意の實行位の受身の訓練では不充分であつて盡忠報國の至誠より發する防空必勝の烈々たる氣魄と自發的の準備及び猛訓練が必要である、即ち各家庭に於ける防空資材施設の整備、防空防火計畫の樹立、家人に對する防空教育の徹底（之は物心兩面から嚴として教育すべきである）家族全員を以てする防空防火訓練の實施等を計畫的永續的に行ふべきである

特に空襲被害の認識、戰鬪精神の昂揚、損害の局限に關する願望は能く子女にも徹底せしめる必要があり防火に關しては最も重點を注ぐべきである、先づ我等の周圍を檢討して見よう、資材施設の整備は完全なりや否や、點檢補修を怠つてゐはせぬか

いざ空襲といふ火災豫防の手段を家中の者は知つてゐるかどうか燒夷彈が天井裏に落ちた時、押入れの中に落ちた時の處置、家の近くに爆彈が落ちた時を豫想しての動作、火災になつた時の消火法並に全ての準備對策がなければならぬ

斯くの如き平素からの周密な準備對策が出來て居り之に基き時々訓練が行はれてをればいざ本物といふ時家中誰一人として泣き喚きあわて騷ぐものもなく秩序整然次から次へと發生する事態に處し臨機應變一致協力して戰ふ事が出來結局損害を最少限に止めることが出來るのである

防空計畫を樹てよ

そこで訓練の日常行事化、防空生活化を家庭に確立する爲の一私案を申すなれば、一家の家長なり主婦は時々防空訓練を計畫的に實施する必要がある、施設資材の點檢補修日を設けるとかまた防火訓練日、燈火管制日、防空に關する精神教育日、空襲時に於ける綜合訓練日等々色々の課目に分けて家中を訓練する

又愛國班や町内會でも右の要領で度々訓練をやつて精神的實際的に協同作業の圓滑を期する必要がある

空襲は必至であり而かも目睫に迫つてゐる、防空が國民總力を擧げてする重要なる武力戰なるを思へば今日最も必要なるものは防空意識の昂揚であり防空必勝の氣魄である、戰陣訓に『信は力なり自ら信じ毅然として戰ふもの常に克く勝者たり、必勝の信念は千磨必死の訓練に生ず、須らく寸暇を惜みて肝膽を碎き必ず敵に勝つの實力を涵養すべし』勝敗は皇國の隆替に關す光輝ある軍の歷史に鑑み百戰百勝の傳統に對する己れの責務を銘肝し勝たずば斷じて已むべからず、一瞬の油斷は不測の大事を生ず、常に備へ嚴に警めざるべからず、敵及び住民を輕侮するを止めよ、小成に安んじて勞を厭ふことなかれ、不注意も亦災禍の因と知るべし』眞に防空にも亦採つて以て守るべき金言である

然し敵の來ぬのはかゝる備へが我に有ればこそ來ぬのであつて即ち敵の來らざるは即ち戰はずして勝つたのであり、戰の原理からいつて上の上なるものなのでありこれ即ち防空必勝を實現したとなのだ

非常な親孝行者
南方戰の華 噫金子中尉

【〇〇基地發表】十七年十一月七日戰死者 中尉 金子精一（京城府岡崎町）

兇惡を狙く炎熱を衝き密林に挑み南方戰線に奮戰中、惜しくも護國の礎石と散つた陸軍中尉金子精一氏の戰死の報が十四日〇〇原隊から發表された

故金子中尉は京城岡崎町九八の出身で、大東亞戰勃發直前應召勇躍征途にのぼり南方戰線に轉戰米英撃滅に挺身突入したもので、京城の自宅には父君倉松氏母堂靜子さんがあり、弟弘次君とともに留守宅を守つてゐた

出征前は朝鮮石油總務課に勤務、龍中から延禧專門に進み排球の選手として活躍した、戰地から留守宅に寄せられた手紙は南方〇〇戰線からのもので、家族の健康を祈り、悠々閑日月南海の魚釣のことなど書き寄せるとともに飽つて君國に報ずる旨を強調、絶えざる親孝行ぶりを示してゐた、名譽の戰死の報に遺族の兩親は交々語る

あの子は大變溫順で讀書好きでした、親の口から申すのも變ですが大變な孝行ものでした、立派な働きをして國の花と散つてくれたならと陰ながら祈つてゐます、未だ公報に接してゐませんので何から申してよいか分りません【寫眞＝故金子中尉】と語る兩親

土岐子來鮮

【釜山電話】貴族院議員子爵土岐章氏は帝國發明協會朝鮮本部の招聘により十四日夕來鮮十五日午後二時から釜山商工會議所で『大東亞戰爭と發明』の講演を行ひ十六日朝入城する

陸軍技術研究會第二回總會

【東京電話】陸軍技術研究會第二回總會は科學技術振興式に引續いて十四日午後一時から兵器、航空兵器、被服糧秣、衛生、獸醫、燃料、資材、建築及び需品の各分科會をそれぞれ關係軍官衙、學校で開催、技術將校士らは各自獨特の研究題目を提げて眞摯な發表を行つた、なほ第一日の分科會發表事項は次の通り

▲兵器分科會 砲身及び駐退復座機等、ホールニング作業並に小口徑火砲のブローチによるライフル作業の研究―木下秀雄兵技少佐ほか六氏
▲航空兵器分科會 〇〇〇〇―中島隆吉技師ほか七氏
▲被服糧秣分科會 〇〇―鈴木捌市主計少佐ほか四氏
▲衛生分科會 航空防傷面について―長谷川逸郎軍醫大佐ほか十二氏
▲獸醫分科會 鼻疽血清診斷の改善に關する件―小野隆獸醫大尉ほか八氏
▲燃料資材分科會 特殊船―内山賢男海軍少佐ほか十氏
▲建築及び需品分科會 飛行場附屬施設に對する曲面板の應用に關する研究―坂源雄氏ほか十氏

一同慰勞會へ

【東京電話】第二回陸軍技術有功章に輝く國防科學の殊勳者八十名は第一日（十四日）午後の日程分科會を終り、のち打揃つて陸相官邸に開催の慰勞會に臨み陸相代理、富永次官、土肥原航空總監、佐藤軍務局長、菅陸軍兵器行政本部總務部長以下關係者出席して盛會裡に七時過ぎ散會した

話題特急

☆……全鮮のラジオ聽取者が廿七萬七千二百八十一名になつた、二月末に比べると千七百五名の激增であり電波管制前よりも二千九百七十九名增加したが、百世帯では六・一といふ貧弱さだ

☆……半島人聽取者が一ケ月に千六百九十一名も大幅に增加したことは放送協會始まつて以來の快記錄で注目すべき現象だ、これを放送當局ではラジオの調子が大變よくなつたうへに半島人の時局と國語との理解者が增加したのだと喜んでゐるが、これに憐みの種がある

☆……一金七十五錢也の聽取料の集金だ、都會地では滯りなしの引越し、これを搜し當てるのに三ケ月から半歲、田舍の一軒家になると數年來未納といふのが累積してゐる、一ケ年分前納すれば一ケ月分割引、半ケ年で半月といふふれ込みで特定局に集金を依頼するが、國債や儲蓄の實践きに手を取られ、そこまで手が廻らない

あゝ佐久間艇長
第六號艇沈んでけふ卅三年

北は猛吹雪と酷寒のアリユーシャンから南は灼熱のソロモン海域へ怒濤を蹴つて撃米英艦隊に赫々の武勳を樹てゝゐるわが無敵海軍育ての親ともいへる佐久間艇長が殉職してから卅三年、思へばけふ十五日は明石沖の猛訓練中佐久間艇長以下の海のつはものが第六號潛水艇と共に海底に沒し、護國の華と化した命日に當るのだ、世界に冠たる特別攻擊隊勇士の烈烈たる攻擊精神も、佐久間艇長の遺訓に負ふところ多きを想へば、大東亞戰下に迎へるけふの命日は一億國民擧つて佐久間艇長を偲び、益々『撃ちてし止まむ』の信念を深むべきである、この日京城では『佐久間艇長を偲ぶ會』を催すが、これに先きだち京城海軍武官府松本大佐と佐久間艇長と同郷の京城府千田總務部長は在りし日の佐久間艇長を次の如く語つた

烈々傳ふ潛水艦魂
永遠に生拔く精神
松本大佐談

戰時に於いて戰死するのは當然だが、我が佐久間艇長は平時に死を賭して職責を完うし殉職した、艇内にガスが發生して息が切れるまで、一糸亂れず、全艇員が持場持場で天皇陛下萬歲と共に海の藻屑と消えた、ハワイ眞珠灣の戰果を見よ、或はアメリカ西海岸まで遠征する潛水艦を見よ―かくのごとく世界無比の海軍に發展したのは一朝一夕のことでもなく偶然に成長したのでもない、實に、佐久間艇長の如き偉大な大先輩の心をうけ血をうけ、そして實戰よりも

激しい猛訓練を積んで今日の無敵海軍になつたのだ、海軍の生活は地味なものだ、その中でも殊に潛水艦は地味なもので、數ケ月も太陽の光を浴びずに水中で生活してゐるので、戰鬪の時よりも體力の消耗は大きい、文字通り決死的に作業に從事してゐる、とにかく

佐久間艇長の犧牲はいたはしいが、しかし無意味ではない、我が海軍の偉力の原動力となつたのだ否むしろ同艇長は、死んだのではなく永遠に生きてゐると私は思ふ彼の肉體は死せりとも彼の勳功は永久不滅だからだ、ちやうどそれは嚴島東南、岬多島海上だつた、同艇長の

【寫眞＝松本海軍大佐】

殉職記念日に

際して所謂銃後の諸君に認識して貰ひたいことがある大本營の發表に未歸還機が一機とか二機とかいふのがあるが、これは迷ひ子みたいに道に迷つたのではない、飛行機は一定の燃料で一定の距離しか飛べない、その行動範圍が決つてゐる、任務を受けた勇士は徹頭徹尾職務を完うせんがためにそれこそ

無我の境地だ

敵をやつつける、小艇にも、敵機はまた舞ひ上つてくる、一つ二つ擊墜する中に、思はず知らず行動時間が長びいて、歸途についた時にはガソリンが切れてゐて、飛行機も飛行士も無事に歸れないだが、任務を果したと滿足してにつこりほゝゑんで天皇陛下萬歲と共に散華するのだ

この敢鬪精神

責任觀念は、自爆ともちがふこの未歸還機の犧牲的精神に見做つて、銃後の國民、益々奉公の誠をつくして戴きたい

あの遺書、郷黨泣く
少年の頃から既に完成した人格
同郷の千田さん語る

佐久間艇長を語る千田京城府總務部長

今年は卅三回忌にあたるし、また艇長が全くよく今次戰爭に武勳を擧げた特別攻擊隊の勇烈無比な行動にも似てゐるので、本年は思ひ切つて大きい催物をするとになつたとは、郷黨としても感謝に堪へない、佐久間家は代々村社前川神社の世襲神職で、その神社は今から凡そ千百五十年前の創建といふから村でも舊家

艇長勉氏は次男坊で流石に神官の育ちだけに溫厚篤學、村人は誰一人として海軍士官になるとは考へてもゐなかつた、小濱中學時代、寄宿舍が洪水に洗はれて一時附近の寺に合宿をした時多數の生徒の中に打交つて、佐久間さんだけは四六時中袴を脫がず正しく机に向つて勉學を續け寺の住持たちを感激させたといふ、少年のころすでに完成した人格を備へてゐたのである

海軍兵學校に入つてからも郷黨や後輩の指導に當り、今でも殘る小濱中學の〃佐久間ボート〃は當時佐久間少尉がレース用ボートと海軍のカツターを併用して設計されたもので、如何に艇長が海軍思想普及に熱心であつたかの一證が窺はれるではないか、殉職の一週間前、艇長は敦賀にゐた一人娘當時生れたばかりの輝子さんを訪れて記念撮影などを行つて父性愛の限りを盡したのだが、想へばこれが最後だつた、夫人次子さんは輝子さんを生むと同時に產後の病勢で死去し、殘された輝子さんを知己に預けて勇ましく基地へ出た佐久間艇長が、艇と運命を共にするまで少しも私事を貴さず一死、君國に報いん決意の下に從容として死んで行つたことを遺書で見たとき、郷里の人々は聲をあげて泣いた

近く佐久間さんの遺蹟を偲んで小さいながらも神社建立の相談がもち上つてゐる、大東亞戰爭に於て示した海軍將兵の貴く魂が、佐久間艇長のこの強き責任感と偉大なる精神的な指導力によつて今日の海

少年保護座談會（中）
家庭の環境ひとつ
惡へ走る少年の動機

高瀨 家庭教育の問題なんですが―私の友人に國民學校の先生がをりましてこんな話を聞きました、中流家庭の子供でしたが從來非常に成績が良かつたのが急に惡くなると同時に校内で盜難事件があり、その子供がやつたらしいことが判り、どうにかそれは片づけた、ところが今度は百貨店で萬引をしたことが判つた從來成績が良かつただけに變だと言ふので調べて見ましたら、その家庭は兩親とも相當な地位がある人ださうですが、おとうさんが會社に勤めてゐて時局關係のためか毎晩宴會があつて歸りが遲い、收入が多いから母親が盛んに買物に出歩く、そして子供は顧みられない狀態にあつたといふことが判つたさうです、こんな例は澤山はないでせうが子供を惡化させるのは家庭の狀態が大きく作用するよい例だと思ひます

藤好 京城保護觀察所で昨年一月から十二月まで、五六名の專任主事が十七萬五千の兒童生徒を相手にして京城府内で取扱つた事故の概要を申上げますと、總數は五千八百九十件になります、一番多いのは國語常用をしない者も事故の一つと認めることにして取扱つたところ、千六百十件の多數に上りました、次は道路徘徊、つまり學校から眞直ぐ家へ歸らないもの、これが八百六十一件、次は拔け遊びと云つて計畫的に學校へ行かないで映畫館、百貨店などで遊ぶ者が七百一件となつて居ります

上野 仙甘島の塚本さんにあなたの所に收容してゐる子供の犯罪傾向について……

塚本 仙甘學園は昨年五月設立を見ましたもので、漢川から海上二里の地點にある仙甘島を買收して現在二百七十二名の浮浪兒を收容して居ります、これ等の浮浪兒は全部京城府內で掏摸、乞食、窃盜をしてゐた者ばかりで、窃盜をしない者は一人もありません、五百名まで位なら島内の畑で自給自足が出來魚介類も豐富であります、窃盜する原因は家庭教育の惡いのが大部分で、中には親が疑めて窃盜をやらしたといふのが統計上相當あります彼等の大部分は浮浪兒でして、金さへあれば食べ物屋に入つて一日に十四五回、多いのは二十回食つたといふのがあります、二百七十二名中平均して醫者の手にかゝつてゐるのが卅五名入院患者が廿五名位あります また性的にも發達してゐて、十七、八歲で梅毒をもつた者もあります、大きい者の小さい者に對する制裁は我々の想像以上のものがあり、又世の中に虐げられ續けてゐた故か人を絶對に信頼せず、親切といふものを知らない有樣です

横瀨 彼等は警察から送つて來るんですか

塚本 京城府內の各署から送つて貰つて居ります

上野 あの親方はどうしました

塚本 よく判らないのですが、何とかいふ旅館に一ケ月居なくなつたさうですが……

塚本 私のところの子供が六十圓で下宿をし、乾分を四十人位もつてゐたやうです、その乾分が學園に澤山來てゐて、親分が來ると矢張り幅を利かせてゐます

上野 方山さんはルンペン層の御世話をして居られるのですが、塚本さんの仰言つた以外特に注意すべき事について……

方山 內地に十九年間をり四年前に京城に來まして浮浪兒の多いのに驚いて子供を拾ひました、現在百人ばかり收容して居ります、浮浪兒の特性としてはよく蛇を食ふ事です、先日も二人の子が山で蛇を燒いて喰べ一人は內臟まで喰べたので毒が廻つてセブランスで遂に死にました、仙甘島でも學園が出來て隊長先生に記念だと蛇のステツキを作つてくれました、非常に上手なのを……

出席者（敬稱略）
上野義雄（京城少年審判所長）久保田源一（少年審判官）森明直（京城少年院長）黑瀨正三郎（本府刑事課長）稻光一夫（本府保護觀察官）毛利將行（同）塚本忠信（仙甘學院）方山來源（香隣園）藤好秀（京城保護觀察所）中務錄一（京畿高女）宮島芳河（人文中等學院）高鳳京（梨花女專）横瀨松次郎（仁川陸軍造兵廠）吉原三次（三菱製鋼仁川製作所）伊藤選二（京城職業紹介所）多林禎六（丁子屋）才川助市（同）廣瀨英（和信）

方山 兒に角よく蛇を喰ふ事を聞きますね、それから親分に虐げられるのも大變なものです、去年の今頃親分に毆られて傷になつたのを或る人が連れて來ましたが內臟まで毀れ、色々世話をしましたが死んでしまひました

上野 それでは高先生、先生は御姉妹で嬰兒のお世話をして居られると承つてゐますが嬰兒を通じて觀た未婚少女の傾向について承りたいと存じます

高 香癒なしに母親の膝許から引離された一ケ月未滿の子供を世話して色々と經驗をいたしました、嬰兒は食物と着物だけでは育つものではないといふことをつくゞゝ感じました、嬰兒には絶對に母親の愛情が必要であります、私の處へ來る赤ん坊は母親が梅毒とか、産後死亡したとか貧困で育てられない者などもありますが未婚少女が私生兒をつくつて苦しむやうな問題は少年保護の問題と密接な關係があり女性保護の立場から考へることも大切だと思ひます

上野 娘の犯罪で變つたのがありますから御披露いたします、或る商店に月給四十圓で雇はれてゐた十七歲の半島娘で家庭も中位の暮しをしてゐるますがその家の女中が旅行中に行李の中に入れて置いた內地人用のシヤツ、襦袢などを失敬して家へ持ち歸つた、直ぐに判つてその娘も悪かつたと云つて全部返しましたが、その動機がはつきりしません困つてやつたのではなく、矢張り物資の入手困難といふことが娘にそれをさせたのではないかと考へて居ります

胃腸に はぶ茶 夏川茶舖

甲子会の名藥
地位向上に まつち
婦人良藥 ハ子
健眠に美眼に マス
補血強壯に 血液
薬の天瓜粉 ベビーサン
神經痛に ロイマ
健胃健腸に 蓄園
熱にも咳にも 改
總代理店 株式會社 中西武商店

痔なら ヘモロス
使用後の爽快さ！ 目に見える治療効果！
大韓 官立病院採用★
東京・京城・神戸 製造 大興 賣 生藥軟膏
定價 各L20

暖くなる みんな元氣でよい子にならう
切り傷すり傷オゾで治そう
オゾ

ロボイラー
工場・鑛山・兵舍・寄宿舍・病院等の大小浴場・洗面所・湯沸所・消毒室其他給湯用
暖房・水道衛生淨化裝置設計施工請負
カタログ呈（御希望時明記ノ事）一般家庭用取扱ハズ
東京・神田・鍛冶町三ノ一 株式會社 巴商會
電話神田三四八・三四五三
支店・大阪堺筋北久寶寺町

胃腸調整に エビオゲン錠
榮養の吸收力を昂め、補血強壯、疲勞恢復・脚氣の豫防
五〇〇錠・三圓九五（稅込）

軍用犬 進呈
軍犬・獵犬報國 軍用大型進呈
日本犬柴犬研究所
日本洋犬聯盟

日本犬のお奬め 柴犬・猪犬・秋田犬・仔犬
○日本犬には米肉不用 番犬、獵犬は世界中で日本犬に勝るものなく粗食で節米でも安心で日本犬の活す

感冒 肺炎の濕布療法に 資生堂のビタハップ 五〇セン

生肌からピチッと美しく！ パミンシ マスタークリーム 肌アレ恢復 髭ソリ後に

油斷すれば腦溢血で倒れる
手足しびれ痛み、頭重、不眠、耳鳴、舌もつれに、小用近く
最新血壓中樞（急所）に特殊ホルモン注入療法とは？
高血壓中風に

らい病

東新商工學館 生徒募集

ニキビが取れて色白くなる

株式名義書換停止公告
朝鮮運送株式會社

公告
朝鮮内ニ居住シ店舖ヲ有シ營業ヲ營ム種苗業者ニシテ、當協會員及未加入業者ニ關シ今般實績調査ヲ致シ、當協會員トシテノ資格並之ガ配給機構確立上ニ於ケル準備資料ト致度候間左記要領ニ基キ御報告被下度此段御案内申上候也
一、調査資格
一、申込締切期日 昭和十八年四月三十日
朝鮮種苗協會

京城競馬
四月 十六日（金） 十七日（土） 十八日（日）

移轉謹告
謹啓 時下新綠之砌益々御隆盛之段奉大賀候 弊社儀毎々格別之御厚情を賜り有難く御禮申上候 陳者今般左記へ移轉仕候條何卒御諒承を賜り度今後共倍舊の御引立の程伏して奉懇願候 敬具
昭和十八年四月十五日
移轉先
合名會社 協隆洋行京城營業所

菊一文字
謹製 軍刀
本家 菊一文字

耳鼻科
化膿性疾患に
中耳炎 扁桃腺炎 蓄膿症 耳下腺炎 化膿症一般
本劑は内服により病原菌を直接克服す。故に化膿・疼痛・發熱を消退せしめ根元的治癒を促進せしむ。
山之内 ズルファミン劑 アルバジル錠
內之山

止めよう三日坊主 交通訓練は永續だ

原田警察部長談

來る十九、廿の兩日東京で開かれる各府縣警察部長會議列席のため十五日『あかつき』で東上する原田京畿道警察部長は十四日道出入記者團との共同會見席上、左の如く語つた

本日は交通訓練第三日目であり昨日も府内の訓練振りを見て廻つたが上乘の出來であつた、交通にせよ防空にせよ、この種訓練に於てはその週間中は非常によく統制がとれて立派な訓練ぶりであるが過ぎてしまへば、又もとに還りがちなのは遺憾である。府民は今少しく交通への關心を高めて訓練週間中の成果を何時までも持續して貰ひたい、道では從來無事故日を交通安全日として實施して來たが最近の殺人的な人の混雜振りに鑑み今後週一回は實施する積りである。問題してゐる電車乘客に就ても種々案をねつてゐるが先づ六月頃から一錢の税金を賦して電車賃を六錢とすること、各停留場に於ける切符の發賣、大衆向の五十錢制の回數券の前賣或は現在施行の急行通過停留場の増加、交通整理員の増加等々京電當局との折衝を俟つて實現し交通難の緩和を圖りたいと考へてゐる、電車路線についても本府前から安國町に拔ける線の新設及び黄金町四丁目より本町四丁目に至る線及び奬忠壇線等はこの際無用のものであり、それだけ戰線への増車をみる譯で時局下錬成の秋この位の僅かな距離は歩いて貰ひたいものと思はれる、要するに用のないものは外出は是非歩いて貰すことである、四月十八日は京都空襲一周年の日であるが府民は防空へ一層と關心を深めなければならない、最近では大型爆彈の投下も考へられるので燒夷彈についても徒らに恐怖心を起さず平素の防空訓練の實力を示し訓練で培つた自信に立脚しいざ！の場合に於ては主人方が會社或は官廳の防空に出るため殘る婦人方で防火に努めるやうなことがあり得ると思はれるが愛國班の防空作業は個々の各個隣組なのであるから各愛國班にあつては男手がなくても立派に防空の出來得るやう訓練されて欲しいものである、途上の人また然りで拱手傍觀することなく愛國班の人々と一體になつて防火に努めるべきであらう、以上決戰の春、陽氣に心許さず聖戰一番道民總訓練の實績擧揚に邁進致したいと決意を新にしたい

正しく歩けと 西大門署指導してゐる

週間は十二日から實施されてゐるが、西大門署では〃正しい歩〃の躾に樋口署長以下全署員が率先民衆に範を示して登退廳の際は務めて歩くことにし、歩け歩けの交通道德を徹底するほか警防團員各學校生徒と協力して車馬の指導訓練をなじめ交通整理にあたり事故絶滅に徹底を期してゐる

半島初の母の會を組織 家庭と少年保護の座談會

朝鮮中部少年保護事業助成會では十四日午後一時から京城丁子屋で『家庭と少年保護』の座談會を開催した、上野少年審判所長、久保田審判官臨席、伊達四雄氏夫人年野さん、矢鍋永三郎氏夫人修さん、額賀朝鮮神宮々司夫人茂子さん、總力聯盟講師須江愛子さん、天城製薬校長ほか各教育關係者多數出席國民儀禮に次いで、上野院長の開會の辭、久保田審判官の内地における〃母の會〃の活動狀況の報告があつて座談會にうつり、上野院長司會の下に隔意なき意見の交換があり最後に臨席婦人を激勵し强化された少年保護についての國民の認識を一般に深くさせると同時にその方面の知識を選び修養を積む目的で〃母の會〃を組織、第一の本少年保護の完璧を圖ることになつたが、この〃母の會〃は朝鮮最初の試みで、その成果に多大の期待がかけられてゐる【寫眞＝家庭と少年保護座談會】

少年保護目的完遂祈願祭 仁川で擧行

決戰下人的資源の錬成が愈々強調要請されてゐる折柄十六、十七兩日に亘り全鮮一齊に少年保護運動が展開され、仁川でも少年保護司仁川教護會、司法保護委員會が主催となつて各種行事を催し、廿萬府民に少年保護の重要性を認識せしめることになつてゐるが、一般行事に先だち十六日午前十時から仁川神社大前で少年保護目的完遂祈願祭がいとも嚴かに執り行はれ、座談會は都合により變更されて廿三日午後二時から公會堂で開くことになつた

街の慰問袋 これは？交番から美聲

皆さん、交通事故の信號に注意して進めの信號で眞つ直ぐに横斷して下さい……齒切れ良い調子はアッといふ間の瞬間の出來事であります、アセル一歩が事故の因、横斷歩道はせかずあわてずよつて交叉點の鋪道へ流れます、美聲が朗々と擴聲器を傳はる、交通訓練期間中の十二日から十六日迄主な交叉點の交番所から毎日放送されますが十四日には鍾路横の交番所で京電の女子車掌山佳貴珠さんが終日熱心な放送で府民に感謝されました【寫眞＝交番での街頭放送】

華僑の防諜座談會開催

同生共死の旗幟の下に日本に協力聖戰目的の完遂に邁進する在鮮華僑に防諜知識を普及するため東大門署では十四日午後三時から同署訓示室に東大門華僑親睦會丁元驥會長以下幹事多數を招集〃防諜座談會〃を開催、泉川署長から戰時下に於ける敵の謀略または間諜に關する防諜策の説明あつて座談會に入り、隔意なき意見交換が行はれ、多大の收穫を擧げて同五時ごろ閉會した

野外劍道大會

十八日午前十時から奬忠壇公園事務所前廣場で京城武德館主催春季野外劍道大會開催、陣之内範士引率の少年劍士百數十名が個人試合や紅白試合に櫻花と競ふ錬成の一日を送る

北陸方面登行會

京城府體育振興會登行團では、動植物の研究、遞信演習、軍歌演習等を兼ねた登行會を來る十八日北漢方面に擧行することゝなつたが參加申込は十五日まで、なほ今回は汽車賃約一圓、晝食、水筒の外軍歌集手帳の携行を必要とする、尚當日は又若宮林業試驗所長が參加、實地指導の豫定

警部、警部補異動發令

道警察部では警部、警部補級の異動を十三日附を以て次の如く發令した（括弧内は舊任）長湍警察署長（仁川）警部中島勇夫◇警察部高等課勤務（京城本町）警部松野◇安城勤務（京城本町）警部補桐宮尾治平◇警察部經濟課勤務（永登浦）同山下庄志◇警察部外事課勤務（京城本町）同竹本忠夫◇永登浦署勤務（衛生課）同五十嵐尚龍◇同（龍仁）同龍田武◇任朝鮮總督府京畿道警部仁川署勤務（經濟課）同西原英雄◇任朝鮮總督府京畿道警部經濟課勤務（同）巡査遠田文藏◇同漣川署勤務（京城東大門）牛島淳◇同警察部衛生課勤務（京城西大門）岡田立正◇同京城本町署勤務（同）同今村義輝◇同水原署勤務（坡州）同熊高秀美◇同龍仁署勤務（利川）同松元善一◇同警察部經濟課勤務（龍仁）同深海武雄◇同京城本町署勤務（京城本町）同德本善次

正しい榮養知識の圖解展

『戰時生活は正しき榮養から』と榮養知識普及のため北鮮科學博物館、綠旗聯盟主催の下に十六日から廿日まで三越五階陳列室で『正しい榮養知識圖解展覽會』を開催するが出品物は京城醫專成田教授の考案を采倉行男氏の製作になる獨創作品で陳列府同館の陳列に先立つて特別展觀を行ふもので十六日午前中には成田教授の説明がある

錬成吟行會

川柳協會仁川支部では十一日水原まで錬成吟行會を試み同地の郷友本町鈴木一坊氏の案内で古城趾を一巡句作披露して夕刻歸來したが、參會者は素園、石秀郎、桐葉子、木武、勇門、宇佐生の七氏

開城署で犯罪豫防に注意喚起

【開城】署では季節柄民心の防犯注意力の弛緩に伴ひ空巣狙ひ忍び込みの犯罪が續發する傾向があるので防犯の徹底を期し犯罪豫防上遺憾なきやう一般府民に注意を喚起してゐる

仁川に流行性脳脊髓膜炎が發生

仁川府松林町三六金某憲（二）さんは十三日流行性脳脊髓膜炎と診定、即日德生院に隔離收容されたが、傳染經路は未詳、署衛生係では防疫の萬全を期し、患家附近の大消毒を實施した

牛島巡査部長榮轉

東大門署外勤監督係牛島巡査部長は十四日附辭令で警部補に榮進、京畿道漣川署司法主任に榮轉した

老の身は獻金報國 鍾路署へ百圓寄託

六十の曲つた身體を一本の杖に託して、十四日鍾路署を訪れ、金百圓を陸海軍へ五十圓づつ献納寄託した軍國のお婆さんがあつた、このお婆さんは嘉會町一六八の一三金鳳姫さん（六〇）で〃征けぬ身の代りにせめて献金でもして奉公に報せん〃と大東亞戰以來生活費を節約して貯めてもの、なほ同日の献金は左の如し

五圓内需町三二一富田吉成▲卅圓安國町一六九金村鳳翼▲十三圓公平町一五五李德華▲廿圓明治町小松安井商店々員一同▲三百八十七圓八十三錢本町五ノ七四旭根サーカス團代表藤本千代藏

結婚費用を節約献金 本町署に一千圓

『結婚費用を節約した金一千圓を國防献金致します』と府内本町五丁目三六長野安雄氏は下往十里町三三三一膳谷正彼嬢と華燭の典を擧げた費用を節約した金一千圓をそつくり十四日本町署に寄託陸海軍へ献金したほか、同日次のやうに國防献金が寄託された

一圓四十三錢銃後の一國民氏、百圓壽町一ノ三九河部貞次郎さん、百圓本町三ノ六四吉原溢雄さん、百圓京城會館紀文店主從業員一同、六十圓横田元近さん

東大門署扱

十四日東大門署へ寄せられた献金は次の通り

▲眞鍮器四十四點、古錢四十四枚、現金四圓五十錢徽慶町二〇三柳汝秀▲三圓渡慎町九一丸山きん▲五圓五十錢忠信町一五松岡容錄▲十五圓十八錢新設町三六九の三松本一郎▲廿圓六十六錢安岩町會第五區八班員一同▲六圓十錢東崇町一九〇の三新井文楠▲四圓蓮池町貞信女學校松本靜江▲三圓四十錢新設町四〇の二有島幸一

[illegible]

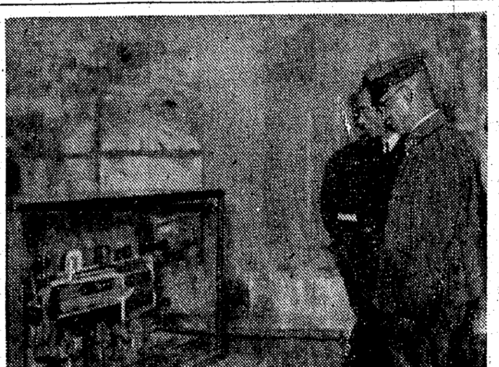
西大門署扱

十四日西大門署に寄せられた献金は▲竹添町二ノ一三八上野喜さんは一錢銅貨をはじめ硬貨を貯へてゐたが計十八圓四十錢を献金▲八圓五十四錢▲十圓八十二錢大[illegible]三六安田[illegible]峴町一二七白南[illegible]

躍進滿洲を眼のあたり 倉茂報道部長も一巡して讚嘆

賑ふ大滿鐵展

北の護りに嚴然たる存在を誇る滿洲國、東亞共榮圏の樞軸大滿洲國の國力着實に全能力を擧げて躍進する滿洲の姿、その全貌を一目で紹介する滿鐵主催、本社後援、朝鮮軍報道部後援の『大滿鐵展』は十四日から三越四階で華々しく蓋明けした、滿洲と媛々たる繁榮の醸し出す滿洲情緒を會場いつぱいに漂はせ、入口には名物『眼風』が怪奇な姿で注目を引く、早朝から觀衆で雜沓を極めたが午後三時半倉茂朝鮮軍報道部長が副官同伴ヒョッコリ會場に姿を現はし、豪華な汽罐車の模型、ヂオラマによる滿洲紹介、日露戰爭の記念品や大型寫眞、ハリマンの野望や北鐵收買等數々の展觀に一巡し倉茂報道部長は『滿洲の發展に大いに驚きつゝ、展觀によつて米英の野望は遠い昔からのものであり國民的國防心を今更昂揚するものがある』と述べた、なほ十七日から廿七日まで同上の會場で滿洲武道、滿洲手品などの面白い實演が行はれる【寫眞＝滿鐵展を觀る倉茂報道部長】



ラヂオ 15日

朝 六・三〇1『佐久間象山を憶ふ』海軍中將子爵、小笠原長生2愛國詩（錄音）▲九・〇〇『家庭人としての佐久間象山』千田專平▲九・三〇產期近い婦人方へ（講話）醫博、伊藤泰祿▲一〇・〇〇『オサルノヨウチエン』大阪市中大江幼稚園兒▲一一・〇〇四年生の時間『春の海』（ヴァイオリン）森田信八

晝 〇・三〇1尺八ほか 鯉野生山、中島鄕山2手風琴獨奏と合奏 行進曲『双頭の鷲の旗の下に』ほか長内端と長内手風琴樂團▲一・〇〇朗讀『護送作戰』一濱本海軍報道班員作一▲二・〇〇氏物語』京城南大門國民學校兒童（指導）和田武郎▲二・三〇童話用語講座 陸軍大尉中川五十次▲四・〇〇教師の時間は休み▲四・三〇春の子の話（講話）堀花尚女校長 牧田元

夜 六・〇〇1シンブン2佐久間艇長、渡邊哲也ほか▲六・三〇聯盟情報 總力聯盟企劃課長中山春夫▲七・三〇1『地方總選舉について』司政局地方課長渡部肆郎2國民合唱『靖國神社の歌』と『忠靈塔の歌』指導 木下保▲八・〇〇1長唄『常磐屋』松永年風ほか2（關東より）前線より銃後へ▲九・〇〇報道のあと物語『佐久間艇長』▲九・四〇初[illegible]

大いなる祭 【121】

脱出（五）

中野實 作　三芳悌吉 繪

扉の把手が鳴つた。白鳳は身をすくめて入口を凝視した。一人の男が入つて來た。

『かけたまへ』

男は、沈んだ聲で、傍らの椅子を指した。彼女は息をつめたまゝそつと腰をおとした。

が、男は、急に、口を切らうとはしなかつた。何かいひ出さうかと思案に耽つてゞもゐるかのやうに、手をうしろに組んで、部屋の中を往つたり來たりし始めた。

こつ、こつと、靴音が狭い部屋の天井に反響した。彼女は、唇を嚙みしめ、じつと耐へてゐるが、威壓されるやうな空氣に耐へかねて、といふよりは、名状し難い不安が慄めたのをふり拂ふやうに、きつとその男に目をそゝいだとたんだつた。

『僕は』と男はいつた。『君の弟さんとは、長い間友達だつた』

肚の底から絞り出てくるやうなその男の聲に白鳳は、ぐんと胸にこたへた。

『死なしたくなかつた。何としてでも生かしておきたかつた』

かすかに溜息が漏れた。

『俺はゆるさん』

とつぜん、男は立停つてはげしい怒の表情に變つた。

『絶對に許さん。金井鍍雄を殺した奴、俺は生かしておけないのだ』

ふたゝび、男は歩き出しながら自制するやうに、聲を落して、

『いゝ奴だつた。金井はいゝ男だつた。立派な、立派な日本人だつた』

『……』

『白鳳……』

つと、歩をとめて、男はいつた。

『聞き給へ。金井鍍雄が、死ぬ間際にも手放さなかつた遺書がある』

『遺書』

『さう、僕にあてた遺書だ。いゝか。僕は今こゝで讀んでやる』

さういつて、男は、上衣の衣嚢から一通の封書をとり出した。血が染んでゐた。白鳳にも見覺えのある封書だつた。

こくりと男は、つばをのみ込んだ。

『井關さん』

男は井關俊六だつた。

『私はあなたの命令の下に、喜んで死ぬ日を待つてゐます。ところで、これは私の遺書になるかも知れません、が、最後に、私は、あなたに許して頂きたいことがあります。姉のことです。私はなんど、この私の手で姉を處置してしまはうと思つたか知れません。しかし、たうとう今日まで、私にはどうすることも出來ませんでした。弱い奴とお叱りにならないで下さい。私は私自身の弱さを毎日のやうに責めてゐます。近いうちに、どうせ、姉の一味は一網打盡にされることでせう。私は、卑怯のやうですが、私自身が目の黒いうちに、姉の死に目にあひたくないのです。姉を憎みきることが出來ないのです。大義親を滅すといふ言葉を知りながら、私は、今、この瞬間でも、姉を愛してゐるのです』

新刊紹介

▲『國際秘密力とフリー・メーソンリー』解説（國際政經學會調査部編）米英政府の黒幕たるユダヤ金權力の根源を解剖暴露せるものとして出てゐる（三十錢、東京・麹町區・内幸町大阪ビル内國際政經學會）

▲『猶太研究』第三卷第一號の別册

▲『同盟グラフ』（二十八年號）同盟通信社

鶴屋原 德著 山鳩の宿 新刊 定價二・〇〇送料二〇 B6判三九〇頁

放送劇名作集 （第四輯） 國民合唱 定價一・五〇 送料一四

全國書店 發行所 東京市芝區田村町 振替東京四九七〇〇 日本放送出版協會

ラジオ科學全書 無線受信機の設計 田中健一著 （上卷70錢・下卷85錢 〒各20）

京日案内

種別	一件一回（前金）
一號型（三行）	金參円参拾錢
二號型（五行）	金五円五拾錢
三號型（十行）	金拾壹円
求職一號型	金壹円六拾五錢
姓名在社料	毎一回 壹円拾錢増

姓名在社の御照會は午前九時より午後五時まで廣告部へ御問合せの事

一號型（三行）

美容 徒弟募集 國民學校卒業以上の方優遇す委細面談の上 谷川町朝鮮ホテル前 明星美容室

齒科 代診を求む 獨身者住込給與優遇 山口醫院 [illegible]

乳母 入用 本人來談あれ 京城本町二丁目 高木服店

乳母 入用 無くとも可 委細面談 寄務町一丁目三一 沐田

產婆 の手伝 第一名求む 一九〇京城大和町 [illegible]

内勤 書記一名要す 大和町三ノ六 [illegible]

看護 婦見習 [illegible]

女中 給七十八歳の方 南大門通り一ノ二九 谷川商店

電話 賣買 京城府鍾路 電話商會 [illegible]

家庭 教師 [illegible]

二號型（五行）

家庭 [illegible]

高級 [illegible]

求職 [illegible]

試驗室檢査員 採用 私立 滿州病院

貸事務所 有り（二階建）[illegible]

鐵筆 に堪能なる方を求む [illegible]

三號型（十行）

募集

吉和商事本店

女子事務員採用

朝鮮紡織株式會社

社醫招聘

明治生命京城支店

荷造係採用

丸善京城支店

事務員採用 平松鑛業所

フルターミシン 在庫豊富 地方特約店募集 大新ミシン商工社 京城府南大門通五ノ(京城驛前) 電本四五五二番

指揮刀 廣瀨刀劍店

婚禮 結婚式 半島禮式部

受驗生に告ぐ 四月九日開講 京城研數館

花柳病東門 白川醫院

會計檢査、會社設立解散並ニ清算事務及決算事務新税務 計理士 香川弘

最優秀福壽ミシン 現金・月賦販賣 松林ミシン部

引越荷造專門 荷造組

各種織物の染色は當工場へ

肺病全治 萬和藥局

性病 醫學博士 高峰潔

タイピスト 生徒募集

引越荷造及馬車運搬 共同組

古本 高價買入 金剛堂書店

小兒科・内科 金南鎬

タイプ印書引受

新井明鎭 齒科

謄寫印刷

京城禮式場

タイピスト

花柳病・外科 三國醫院

急告!! 賣切れない中にお早く 寶來商會

京日案内ノ御用命ハ 電話本局八五六二番 京日案内廣告社

今日入荷 青豆・豌豆 玉蜀黍 支那大葱 豌豆・玉蜀黍類 大陸種苗園

映畫・演劇案内

城南劇場 十二日ヨリ十六日マデ 日本ニュース 文化映畫 女のたたかひ

中央劇場 十二日ヨリ十六日マデ 日本ニュース 文化映畫 女のたたかひ

和信映畫館 十五日より二十一日まで 日本ニュース 朝鮮時報 一億前進 健康は國のもの

朝日座 十四日より七日間 横山女エンタツ

桃花劇場 十五日より 日本ニュース 船を造らう 歌ふ狸御殿

大陸劇場 十二日ヨリ 日本ニュース マンネスマン製鋼所の世界 愛

浪花館 十五日ヨリ上映 ニュース 勝利への生産 磯川兵助功名噺

新富座 十五日より四日間 磯川兵助功名噺 勝利への生産 日本ニュース

東洋劇場 劇團高協公演 十三、十四、十五日 〃三男妹〃

喜樂館 四月十二日より五日間 日本ニュース 森の秘密 愛の世界

京劇 四月十五日より廿一日迄 日本ニュース 東大寺 敵機空襲

城寶 東大寺 ニュース 敵機空襲

第一劇場 修繕の爲休館仕り候

明治座 十五日より 棉花 兵六夢物語

京日文化劇場 十五日二十一日 時男君の綴方 體力は國から 日本ニュース

若草劇 十五日よりの映畫 棉花 兵六夢物語

商業登記公告

[illegible]

ピアノ調律 各種樂器一切 事務用具 電氣機具 修理專門 東西樂器調音社 京城府明治町一ノ九六

醫學講習生募集 醫學講習所

國策代用車 馬車各種製作 合成工作所 京城府丹橋町一四九 電話本局②六三六八番

信用一等 みのや吴服店 京城本町

京城 都藥房 急性の淋疾 獨特秘藥 公

皮膚科 泌尿科 鴛海醫院 鴛海元則

小兒科內科 横山醫院 醫學博士 横山久衛 入院應需

巡査 募集

耳鼻咽喉科 醫學博士 韓基澤 京城和信裏 電光③671

ぜんそくの苦しみを救へ 喘息 專門藥 頓服で効く ひろ喘息藥

香料 化粧品材料 着色料 染料 東華洋行

わきが 自宅新療法 日本醫藥研究所

ベトナイト 珪藻土 戸田商會

胃腸藥 十一胃腸ヲ健康ナ体カヲ 高貴和漢配合劑

暖房完備 眺望絶佳 海雲台温泉ホテル

月やく 木内本家

酒井婦人病院

强壯造血 エリトーゼ 二省製藥所

自動車・機關車・エンヂン再生 シリンダーブロック シリンダーヘット 龜裂・磨耗・破損 クランクシャフト 各軸シャフト 肉盛・原寸・再生 朝鮮メタリコン工業所

夕刊 京城日報
京城府太平通一丁目三十一番地 發行所 合資會社 京城日報社

地方長官會議三日目

【東京電話】第一回地方長官會議第三日の十四日は午前八時より內務省において開會、午前八時より十時半まで商工省、十時半より十一時半まで運輸通信省、十一時半より鐵道省關係のそれ〴〵各省大臣の訓示ならびに指示事項があり協議懇談を行つた 午後は一時より三時まで厚生省、三時より五時半まで農林省關係の會議を行ひ、夕刻宮內大臣主催の招宴に臨むはず

必勝の信念把持 完戰の決意新た

板垣軍司令官の歸任談

軍司令官、師團長會議に列席した板垣朝鮮軍司令官は歸任後十四日新聞記者團と會見左の如く談話を行つた

先般お召しにより參內致しまして軍狀を上奏致しましたがこの機會において會議が催されました、その際について二三申上げたいと思ひます 天皇陛下におかせられましては日夜軍務に大御心を注がせ給ひ、天機麗はしき御姿を拜しまして恐懼感激致した次第であります

次に今回の會議でありますが、大東亞戰爭の決戰段階に臨みつゝある最も重要な時期でありますので中央の方針を明確にし地方の事情をそれ〴〵詳細に報告して所謂中央地方一體となつてこの大戰爭完遂に向つて邁進する決意を更に一層新しくすることが出來ましたことを私共の最も欣快とするところであります、中央におきましては特に大東亞戰爭に自彊必勝の態勢を備へて進んで米英を擊滅すると言ふ武力的な用意においては十二分の構へあることは勿論であります、又戰爭に必要なる軍需增産方面において政府並に當事者の苦心努力が着々その効を奏し、武力の運用に何等の支障のないことを確認致しましたことは特に皆さんに對しても大いに意を強くするに足ることを強く強調するものであります

なほ東京その他一般市民の狀態を見ましても能く必勝の信念を堅持し、あらゆる困難を克服し增産その他それ〴〵職域の方面に邁進しつゝあることを認めました、當時恰も警戒警報發令時でありまして、市民の防空訓練も非常に進步してゐることを目の邊り見ました、希はくば朝鮮の同胞諸君も愈々必勝の信念を維持して堅忍不拔增産その他の職域の奉公に邁進せられ特に防空の準備等に於ても萬遺算なきやう十分なる用意並に訓練を重ねて聖戰完遂に邁進せられんことを希望する次第であります

近く米本土に鐵槌を加へん

日獨伊呼應の空襲 我方技術的に解決

戰生一如、邁進せよ

佐藤軍務局長口演

佐藤軍務局長

【東京電話】十四日の科學技術者會同席上における佐藤陸軍々務局長の口演要旨左の如し

一、科學技術の戰爭任務 今後戰爭を遂行して行く上に科學技術が負擔する任務はおよそ次の三點に歸着するであらう

（一）生産の躍進 （二）作戰資材の改良進步 （三）米英の死命を制すべき方策の完成

二、生産の躍進 帝國の今日までの作戰は神速を旨とせる絕對攻勢をもつて大東亞共榮圈を構成するとともに本格的對米英決戰の足場を固めたのである、帝國は元來軍需資源の自給自足がなかつたのであるから今後の生産には新占領地域の開發建設が極めて重要なることは言を俟たぬ、すなはち日滿支に南方諸地域を加へた現在の生産態勢確保强化が帝國今後の生産の生命である、しかしてこの生産態勢は又大東亞戰爭の本格的決戰のための基礎的戰略態勢と一致するのである、現在の戰略態勢を損すれば生産態勢を毀ち生産態勢破れば戰略態勢綻ぶのである、この戰、生一如の態勢確保は今後のわが戰爭指導上絕對的の問題である

この戰、生一如の態勢を亂さんとする敵は二つあつてその一は飛行機であり、其二は潛水艦である、造船問題は飛行機に次ぐ生産擴充の重要問題である、わが國の增産は第一に飛行機、第二に船舶であり次でこれがため軍需生産の增强のためにもアルミニウム、鐵、石炭の增産が基本的問題であるので先般制定せられたる戰時特例法にもこの五大產業を取上げられた次第である、昨年より政府は總理大臣はじめ率先陣頭に立ちあらゆる施策を講じ、すべての政治力、行政力を生産擴充の一點に集中せられ、官民またよく政府の意圖を體して生産陣の邁進に努力せられた、その效果ははやくも豫期以上にその成果を現はして來たのである、又十八年度においては造船の大量生産もやうやく本格化し木造船の建造、賃金引上げ、荷役の一層の努力などと相俟つて船舶の損害が前年度より激化するとしても船腹は增加することを期待し得るに至ればまことに力强き次第である、同樣に飛行機、アルミニウム、鐵、石炭など何れも官民の努力功を奏し、十七年度第四、四半期の增産目覺しいものがあるのであつて、この勢ひを是非とも十八年度においても維持し、さらに强化せられんことが望ましいことである

こゝに注意を要するはわが國生産態勢の特徵が南方諸地域および滿支と本土との綜合、すなはち生産の聯路が海上輸送力に存する關係上米などの食糧品およびその他軍需關係品と國民の生活必需品ならなんでもこれを增産してそれだけ船腹の節約になればそれだけ五大產業その他重要產業の增强に船腹がふり向けられるのであるから、戰力の增强となり、戰略態勢と生産態勢がともに强化せらるることゝなるのである、そこで生産に從事する人々はいやしくもそれが軍需關係品であり、生活必需品である限りその人々はすべてこの生産陣營の戰士であり、また生産陣營にない人でも家庭においてもガス、電氣、石炭などは勿論何物でもいやしくもこれを節約し、よつてもつて生産資源の節約と船腹の節約に資することが出來ればこれまた生産增强となるのである

われ〳〵はさらにわが國生産の躍進を要望するものである、これは單なるわれ〳〵の要望に非ずして戰爭が要求する絕對命令である、これいやしくも戰爭に勝らんか絕對に勝者たるを得ないからである、これがためには生産の努力だけでは不可能で、こゝに科學技術の分野の特別の創意と工夫とが必要である

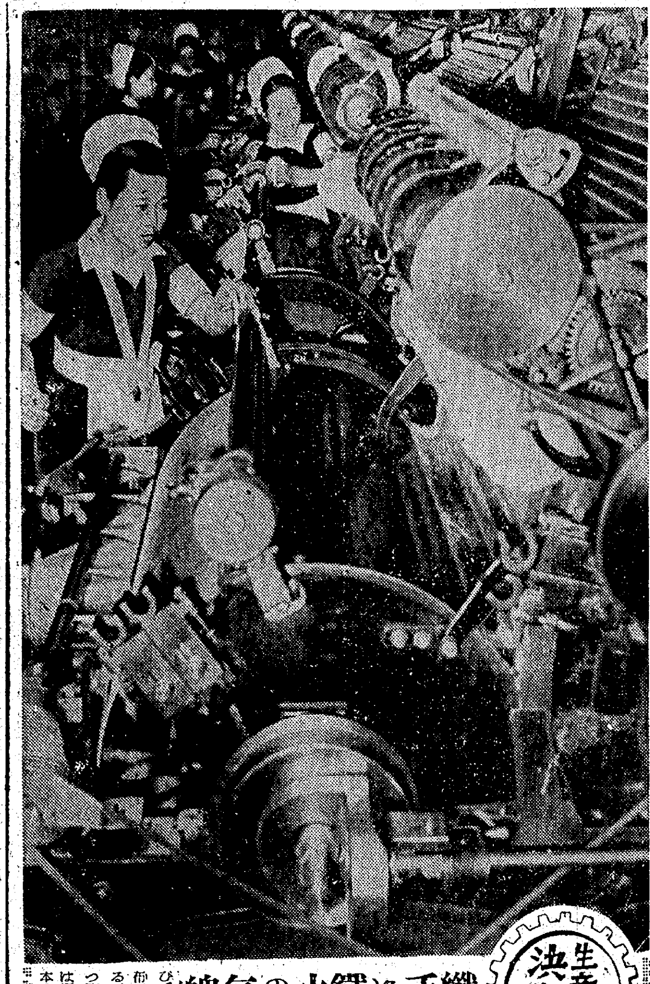
槍と楯、兵器の進步

三、作戰資材の改良進步 過去においては兵器は一戰役後每に改良進步した、今次戰爭においては前の歐洲大戰を基準として兵器を大別して大戰前型、大戰型及び大戰後型といふ風に類別したものであるが今次戰爭においては一戰役を劃して兵器が變つて行くやうな生溫い變り方でなく實に文字通り日進月步である、今冬におけるソ聯軍の冬季攻勢が意外の力を見せたのはソ聯軍が戰車および對戰車兵器の整備とこれら機械化部隊の運用訓練に徹底的重點を指向したことが有力なる一因であると稱せられてゐる、また米國が空の要塞と誇つたボーイングー七は最初わが飛行機が容易に落ちなかつた、すなはち裝甲が堅固であることがわかつたから直ちに新式の强力な兵器を使用して見るとどん〳〵擊墜し得るに至つた、暫くにしてまた擊墜困難に陷つた、すなはちさらに裝甲が厚くなつたのであらう、そこでわれはまた工夫してその弱點を發見して對應の措置を講じ、現在猶これを擊墜してゐる、かくして槍と楯との角逐は日々、夜々實に激烈を極めてゐる、しかして敵の楯が固くなつてこれが對應措置なるまでの間に若干の時間を要する場合にはこの間敵をして優越感を持たすこととなる、この優越感は一瞬時たりとも敵に與へたくないのでわが熱望は拍車をかけるのである

四、米英の死命を制すべき方策の研究整備 およそ戰爭は開始よりも終結よりも最も大切なことは終末である、戰爭を如何にして終末に導くかは戰爭指導に任ずる人々は勿論全國民の夢寐にも忘れてはならぬところである、しかして戰爭終末のためには單り作戰のみならず、外交も政略もすべて必要ではあるが、一たび戰爭に入つた以上斷じて罷戰は考へてはならぬ、眞に武力をもつて敵に城下の盟をなさしむるの實力手段が戰爭終末の唯一無二の確實な方法であることを忘れてはならないのである、この見込と腹取りを確立せずして權宜的和平論などあるひは口にしあるひは考ふるが如きは戰線生産の陣に立つてゐるわが戰士の背後から鐵砲を射つに等しきものである、現下におけるすべての國民的努力は敵をして如何にして城下の盟ひをなさしむるかの實力的成功以外に何ものもあり得ないのである、特に今次戰爭開戰の經緯を尋ぬれば全く米英人特に米人の日本人に對する輕侮の念に基因するのである、しかして今日英國は全く米國に從屬して敵側の戰爭意思は全く米國の指導者が把持するのである、そこでこの米國の戰爭意思を破碎することとこれが戰爭終末の唯一の手段であるしかして米人の戰爭意思は經濟力なかんづくその生産力が世界に優越してゐると思ふ自信にかかつてゐるのである、從つて帝國としては世界を驚歎せしめた神速なる成功をもつて獲得せる戰略態勢と重要資源地域とを確保してその上にわが日本民族の科學技術上における全智全能を傾けて無限の資源を着々戰力化して年月の進むとゝもに戰力を擴充し日本民族獨特の國體觀念に基く精神力と、世界に卓越せる統帥運用の妙技に加ふるにこの物的戰力を織込んで太平洋大陸を主戰場として形而上下の實質を發揮して米人をして日本人を畏敬せしむるに至らなければ今次戰爭の目的は達し得ないと信ずる

米國本土に鐵槌を加ふることの困難はたゞ太平洋の幅といふ距離の問題だけである、しかしてこの距離の問題も今や偉大なる飛行機の進步の前にはもはや問題でなくなつた、わが國においてはすでにこの問題は技術的に解決し、獨伊また米本土空襲の準備を整へつゝあり、日獨伊相呼應して米本土空襲の日は必ずしもさう遠くないのであるしかしながら現在歐洲においては相互に報復的に本土空襲を多少行つてゐるやうであるが、かかる不徹底な方法は空襲の敵手が優勢となり遂には免疫性となり、その效果の大半を失ふやうになる、これが歐洲の空襲の現狀である、彼らは日本の木造建築が空襲に對すると云つてゐる、米國は今盛んに日本を空襲し得ると豫へてゐるが、日本の木造建築なかんづく小なる個々の家屋こそは空襲に對する被害が小であり、また再建も極めて容易なのである、蜂の巢と皮肉つたあの米國の多數家屋を抱擁せるアパートや米人得意の摩天樓の如きこそ空襲に對する被害が甚大なのである 特に米國の高層建築物は概して耐震性の考慮が少いからある種の爆彈の集中的使用に對しては極めて危ないものなのである、それはとにかく、私のいふ米本土への鐵槌とは慢性的免疫性的不徹底な空襲を報復的に交換するのでなく航空作戰に加ふるにあらゆる强力な他の手段をもつてし、一度これを開始せば一擧に敵國の戰意を破摧し得る如く時日は多少かゝつても十分なる研究と準備とを整ふる必要がある

五、結論 今後の戰爭指導は科學技術の成果を基礎として偉大なる戰力の生産增强と作戰資材の改良進步に科學技術の全能を發揮して常に敵の主導權を把持しつゝ敵の反攻を隨時隨所に擊碎し攻勢を繼續しかつ最後に米本土に鐵槌を加ふるのであつてこの偉大なる仕事の責任の大半は科學技術の分野に負はせられてゐることを自覺してこの分野の人々は第一線の將兵が日々敵艱に仆るゝと同樣あるひは研究室においてあるひは工場においてあるひは第一線に出て仆れてのちたほやまざる決意をもつてその責を果されんことを切望してやまぬ次第である、しかして各位の御努力は種々の研究の成果着想など發見または思ひつかれし事項にしていやしくも戰爭に役立つと思はるるものは事大小となく速かに軍の關係箇所に連絡せられたく、軍はまた進んで解決を欲する、あるひは悩める問題を關係箇所に連絡しもつてわが全國民の科學技術の全智全能を戰爭に動員せんことを期す



生産も決戰だ ③ 纖手に鐵火の氣魄

見よ、機械に挑む入る女子産業戰士の瞳の光―それは激しいベルトの廻轉と紡績機械の齒車に湧く轟音の中に閃く生産の瞳の光なのだ、あツ切れた、紡がれてゆく糸の流れの一筋が―ハタと把手を返へして手早に繋ぐその手際、銃後の若き女性は綿毛を雪と浴びて敢闘する、綿は糸、糸は布、布は瀧のやうに渡り流れる、その生産の流れの中に立つ乙女よ、乙女によつて生産は第一綫に、銃後に、戰ふ日本の全野に送り出される

寄城の陳特使―右【左は出迎への板垣軍司令官】

板垣軍司令官に敬意 陳公博特使寄城す

歡談の後、歸路北京へ

國民政府訪日特派大使として中國參戰以來の帝國の支援に謝意を表し、併せて聖戰完遂の決意を我が國朝野に親しく傳達するため七日帝都訪問、戰ふ日本の實情をあらゆる角度から觀察し、中國の決戰態勢確立に大きな成果を收めて歸國の途にある國民政府立法院長兼上海特別市長陳公博特派大使一行は十四日午前十時卅分羽田出發恩義深い板垣軍司令官に敬意を表するため途中京城に寄城同十一時廿分京城飛行場に安着した、飛行場には三年前同じく共苦の誓ひも固く新生の中國を護つて來た當時の支那派遣軍總參謀長だつた板垣朝鮮軍司令官を初め井原參謀長、中井朝鮮憲兵隊司令官、朝鮮軍報道部長、林中國總領事ら多數出迎へ、元氣一杯の陳特派大使は隨員外交部駐滿辦事處長張孫廉氏以下宣傳部參事黃蓋生、上海特別市參事沈兪等、立法院秘書林某等四氏を從へて降り立ち板垣將軍と久濶の挨拶、握手を交はし、ついで飛行場特別室で歡迎の乾杯それより軍差廻しの自動車で直ちに龍山の軍司令官官邸に向ひ軍司令官招待の午餐會に臨んだ、長途の疲れも見せぬ陳大使は板垣將軍、井原參謀長、中井憲兵隊司令官以下軍幕僚、軍各部長、總督府側田中政務總監、江口總務局長、渡田聯盟總長、田中鮮銀總裁、穗積朝商會頭等と卓を圍んで歡談、板垣軍司令官から陳大使一行訪日の意義を說き日華が相ともに死ぬといふことは極めて關係深いことでわれ〳〵同志は眞に心強い、同生共死、大東亞共榮圈の建設與聖戰完遂にふるひ立つ銃後の決意に對する挨拶があり、陳大使は深く板垣司令官の厚意に感激、帝國の中國に寄せられる絕大なる支援に對し米英擊滅の聖戰下に中國の總力を傾倒して戰爭勝利の道に邁進する旨を述べて交歡、午後二時なごやかな中に午餐を終り、板垣將軍の心づくしの紅茶を贈りあつき握手を交はし多數の見送を受けて官邸を出發、同二時半京城飛行場發一路北京に向つた

推薦母體成る

府議選擧 廿八名を指名

百廿萬府民を鞏固な基礎の上に乘せて大東亞戰局下の都市經營に對して眞に私心を捨てゝ邁進する五十六名の選良を出すための初の京城府會議員候補者推薦會は愈々選擧母體として廿一日の公示を待つて活動を開始することゝなつたが、同母體の結成並びに推薦委員の指名重任を終つた古市京城府尹は、十四日次のやうに談話を發表、同時に廿八名の推薦委員決定の發表を見た

なほ午後三時から府民館談話室において初の顔合せ會を行ひ府尹から改めて選擧取締規則の牽則、その他の注意事項を示すことになつた

京城府會議員候補者推薦會委員

井上清氏（前府尹、朝鮮電力社長）池田長次郎氏、林茂樹氏（元慶北知事、同專賣、學務各局長）林川東稚氏（同德高女校長）新田留民氏（朝鮮取引所理事）積穗賢六郎氏（元殖產局長、京城商工會議所會頭）朴興植氏（和信社長）李原用植氏（東部隣保館長）大樹健治氏（府會議員）大山光高氏（元辯護士會長）賀田直治氏（元京城商工會議所會頭、京城商工會議所理事長）金川聖氏（元慶南知事、每日新報社長）田川常次郎氏（元京城商工會議所會頭、龍山工作所社長）谷多喜磨氏（元京城府尹、萬江水力電氣社長）伊達四雄氏（元京城府尹、朝鮮土木協會長）玉山友彦氏（萬城銀行重役）大照善正氏（織物商）高川諸源氏（元忠南知事、朝鮮神職會理事）國友尚謙氏（元警務局長、府會議員）矢鍋永三郎氏（元金融組合聯合會長、元慶海道知事）松川淵空氏（朝鮮國民總力京城本部理事、京城支部副長）肥塚正太氏（元府廳主事）坂口軍治氏（永登浦キリンビール工場長）木下斗榮氏（中樞院參議）金原演氏（元府會議員、官選道會議員）進辰馬氏（京城商工會議所議員）関重楯氏（東一銀行頭取）杉市郎平氏（府會議員副議長）

京城府尹談

來る五月廿一日全鮮的に行はれる府邑會議員、面協議會員の總選擧を機會に大東亞戰爭下に相應しい決戰體制確立のために地方議會の刷新强化を圖るべく總督府の選擧指導方針として推薦制に據るべきことを示されたことは既に周知の通りである、候補者推薦の制度は既に選擧法令に於て認められてゐる所であるが今回特に推薦會を組織し府會議員候補者の全員を推薦することになつたのは之に依つて決戰よりも決戰への重大時局下に選擧運動に狂奔するが如き事態を避けしむると共に選擧の嚴正公平と明朗化とを圖り併つて以て眞に時局の要請する忠良有爲にして質實剛健なる人材を地方議會に送り聖戰必勝の一途に邁進せんとするの企圖に外ならないと思ふ當府に於ても此の本府の方針を遵守して今次總選擧は推薦制によりこれを執行することゝし、本日其の推薦母體たる推薦會の結成を了し其の發足を見るに至つたことは誠に同慶に堪へない次第である、希くは今後推薦會に於ては本會結成の本旨に基き至公至平を以て眞に最適有能の人材を推薦せられんことを期待すると共に有權者各位においても今回の選擧に推薦制採用の意義を充分認識せられ、全府心を一にして舊慣由緖を排除し、神明に誓つて淸き一票を擲げ、以て吾が京城府總力選擧實現のために御協力あらんことを切望して已まない次第である

范漢生氏、公使に昇格

【南京十三日同盟】國民政府では神戸駐在總領事范漢生氏を公使に昇格して他に轉出せしめ後任には外交部科長陳漢如氏を任命することゝなり十三日の行政院會議で決定發令した、なほ范漢生氏は前京城駐在總領事である

消息

◇高橋濱吉氏（京城師範校長）新任挨拶のため十四日本社來訪
◇中光頭平氏（京城商業校長）同上
◇小松勝成氏（總督厚生部生活課長）新任挨拶のため十四日來社
◇船津喜三氏（朝鮮油脂專務）內地出張中の處十四日〃鬼頭〃で歸城

熱帶農業の體驗（文部省推薦 文協推薦）砂糖、椰子、ゴム、麻、綿、珈琲其他熱帶農産物の栽培法を二十年の體驗を基に詳述す。 和田民治著 一圓八十錢 送十五錢
日本の經濟戰略 國際金融資本の暴狀をあばきつゝ、來るべき戰爭經濟の形態、並に米英擊滅の經濟戰略を示唆す。 西谷彌兵衛著 一圓五十錢 送十五錢
（好評名著）國民に叫ぶ 奧村喜和男著 / 米國の野望を擊つ 吉田三郎著 / 南阿聯邦 上原蕃著 一圓六十錢 / 水産日本
大日本雄辯會講談社 發行

汗・盗汗・結核に スクナ（マルホ） 貧血性なき大蒜製劑
株式會社マルホ商店 大阪市東區道修町三丁目

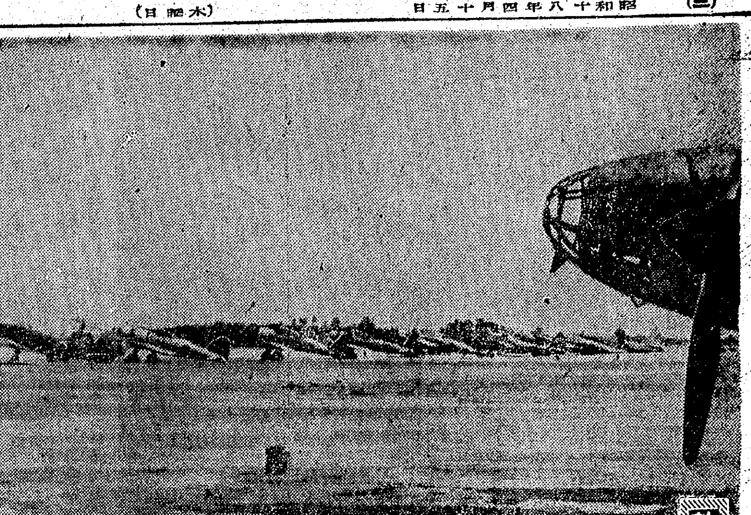
催乳と造血 ビオレバー 東京・神田 大木合名會社

カオール 衛生口錠 效能 口臭 口熱 心身の疲勞 殺菌 消化 不眠 頭痛
本舗 安藤井筒堂藥品部 東京・日本橋

お願ひです。時節柄、節約して大切にお使ひ下さい。 パピリオ

一粒のお米も大切です 感謝で一粒身につけよう
專賣特許 ゼオラ 藥用歯磨
決戰下―感謝していただく食料が完全に身につかない樣ではいけません。強健な歯力は鋭意維持につとめ、悩む歯は急速に治療し、咀嚼力を强化し榮養分を完全に攝取して、健康な身體を創りませう
東京 ミツワ石鹸本舗

更年期障碍 性腺衰弱 虚弱体質等に
製法特許 ベナス
男女性機能賦活劑 ヒビタ
ヒビタは、ホルモン分泌要素を主劑に、更に男女の性腺機能を支配する、腦下垂体前葉ホルモン分泌促進劑にして、活力の根源を衛き、內因的に精氣を横溢せしむ。
田邊五兵衛商店



敵機來るとも（三）
待機する我が荒鷲

一たび喰ひさがつたら離さずんば止まず 襲ひかかる敵機に向ふや飛ぶ丸の續く限り、腕の續く限り 大空狹しと縱横に荒れ廻つて戰果を擧げる我が荒鷲の活躍は群をどりの若武者にも似た華々しさ、隼にも似た俊敏さ、實に目覺しい限りである 一たび哨戒につくや、最後の一滴の油の盡きるまで平然として任務を果すその勇をわれ／＼は絶えず聞いてゐる、敵機來るとも逃しはせじ、わが荒鷲は滿を持してゐる【寫眞＝待機するわが荒鷲＝陸軍省檢閲濟】

先づ勞務者からお次ぎは家庭
營業用には薄くなる
お酒の配給方針決る

朝鮮酒類配給大綱委員會は十三日本府に開催去る一日から實施の酒税大幅引上げに對應する酒類配給計畫設定方針、重要產業用酒類の特配計畫並及び酒類の等級決定の三件を審議決定したが、その結果として決戰下、國家重要產業に挺身奉公する勞務者にはその活動の源泉でもあり缺くべからざる要素である酒類を重點的に特配、能率を昂めようとする國家方針を中心として今後の酒の配給施策を整備し十四日發表した

先づ酒類配給計畫は今次の酒税增徴に關聯して需給の適合をはかるため、更に從前の配給方針を強化し決戰段階における時局の要請に即應せしめることを目的とし、これには用途別に配給方針を決めて國家重要產業に敢闘する勞務者らに對し重點的に配給を行ひ生產增強の緊急性に對應して可及的にその數量を增加させる、その次を行くものは國民戰時生活の潤澤を期して一般家庭とし、これには現行の配給數量を確保、料理屋、カフェー、バーなどの業務用に對しては消費抑制の必要からこれを極度に縮減させる、入營、應召、歸還などの場合における出征、或は祝事などの行事に對しては一定の所要數量を確保してその國民的儀禮を徹底せしめる、かく打樹てた配給の根本方針の下、勞務者に對する特配酒類の中、特定の種類については生產增強に資するとゝもに、生產酒類の節約を避けしめる[illegible]の調整から一定數量に限つて酒類を特配[illegible]

した低廉價格の酒類を配給、生產者に對する業務用酒類配給はその業態によつて其他特別配給する途も考慮されてゐる、家庭用及び業務用酒には既往の消費實績を基礎とした地域別、または職業別に配給、一級品のやうな高率の酒税を要する酒類の割當については消費者の負擔能力に適合させるため地域別（主に道廳所在地の如き都會）用途別（藝妓、妓生の入る料理屋）購買力（一般家庭、主に富裕家庭）の大小を勘案して適當な品質配給をする

既往の實績を基礎とする各接客業者に對する業務用酒類配給はその業態に應じ營業的色彩の強いものに規正率を高くし、一般大衆向と認められるもの、即ちおでん屋などに對してはその規正率を比較的緩和するなど、或る程度の差等を設けてゐる

實業學校珠算競技大會

普成專門學校＝總力聯盟文化部では五月九日午前九時半から第十二回全鮮男女實業學校珠算競技會を同講堂で催すことになり、各實業學校生徒の參加は勿論、一般からの多數參加を希望してゐる、なほ五月五日まで、生徒は自校を通じて申込み、一般參加者は同校宛直接參加申込むこと

朝鮮みやげ 製作直賣 パカチ工藝品 本町入口 大和軒

伊、潛艦三隻を擊沈

【ローマ十三日同盟】イタリー軍司令部十三日公報＝過去數週間においてイタリー海軍は反樞軸軍並に海軍部隊の攻撃により快速艇三隻、潛水艦二隻および巡洋艦一隻を喪失した、同期間においてイタリー海軍は敵潛水艦三隻を擊沈

赤機、ケーニヒスベルグ盲爆

【ベルリン十三日同盟】ドイツ軍當局は十二日夜のソ聯空軍の東プロシヤ爆擊に關し十三日次の通り發表した ソ聯機の大編隊はケーニヒスベルグ市に爆彈および燒夷彈を投下、住宅街、病院、大學その他公共建築に相當の損害を生じた

クバン後方を猛爆

【ベルリン十三日同盟】クバン河口地區ではこゝ數日來小規模の偵察活動以外地上戰闘は全く行はれてゐないが、獨空軍の攻撃は益々熾烈化し、赤軍陣地ならびに後方兵站線に連日猛爆を加へ多大の損害を與へてゐる、すなはち獨空軍戰闘機隊は十三日クラスノダールを大編隊爆擊、前後一時間にわたり軍事施設および飛行場に猛爆を加へ地上にあつた赤軍機廿一機を徹底的に爆碎すると同時に二ケ所の燃料庫を炎上させたほか獨空軍は激烈な空中戰で赤軍戰闘機十八機を擊墜、多大の戰果を收めた

外郭陣地を奪取
獨、レニングラード猛攻

【ストックホルム十三日同盟】ボルホフ戰線一地區の獨軍は十三日レニングラード外郭陣に布陣する赤軍左翼に突如攻撃を開始、降りしく雨を冒して瞬間に大規模の激戰が展開された、赤軍はレニングラードの補給上極めて重要な鐵道線路を死守して頑強に抵抗、前後五回にわたつて獨軍の攻撃を撃退したが遂に獨軍のため強力な楔を打ち込まれた結果、鐵道を撤棄して新陣地に撤退した模様だ

また獨戰略下爆撃機は十三日レニングラード市の大發電所を猛爆大損害を與へたが、ソ聯情報局も十三日夜の公報で獨空軍の活躍が東部戰線全域にわたり急激に熾烈化した事實を認めるの已むなきに至つてゐる

國祭日に蜂起
印度民衆示威

【イスタンブール十三日同盟】ニューデリー來電＝印度民衆はジャリアンワラ・バーの國祭を契機として印度各地に一齊に蜂起し、過去數日間にわたり示威運動を決行した、アムリツアでは數名の學生が宣傳ビラを撒布した廉で逮捕され、またペシヤワルでは英國將校三名が某ホテルで殺害されてゐたゝめ同ホテルの雇傭人全部が逮捕されたこのほか印度各地において數百名にのぼる國民會議派員が逮捕投獄された

時計の修理は村木へ

科學人の金鵄
榮の陸軍技術有功章授與式

【東京電話】わが陸軍科學陣の強化に不斷の努力をつゞける陸軍當局ではさきに軍技術の躍進、あるひは軍需品の充實強化に貢獻せる卓拔な發明發見、顯著な研究優れたる考案などの功績を顯彰するため『技術有功章令』を制定し民間科學人の金鵄勳章ともいふべき技術有功章を設けて功勞者に授與する一方、軍官民の科學者を總動員して陸軍科學陣とも稱すべき『陸軍技術研究會』を開催、困難な研究發表を行ふなど科學者の育成、わが軍事技術の飛躍的向上に積極的施策を講じて來たが、その第二回行賞が十四日陸軍省から發表されるとゝもに東條陸軍大臣臨席の下『第二回技術有功章』授與式が同日午前九時から陸軍大臣官邸において擧行された、[illegible]があり終つて佐藤軍務局長の講演あつて盛會裡に式を終了した、引つゞき午後一時から第二回陸軍技術研究會が陸軍兵器行政本部、陸軍航空本部、陸軍燃料本部、陸軍々醫學校、陸軍獸醫學校の五ケ所においてそれぞれ開かれ陸軍技術研究會第一日の盛大な研究發表が開始されたが、研究會は十七日まで四日間にわたつて續行その間三百餘件に上る貴重な研究發表が行はれる、大東亞戰下初の行賞に輝く第二回授賞者は陸軍部内民間を併せて六十一件八十名でそのうち殊勳甲に認定するものとして徽章賞狀および賞金を授與されたもの十三件二十名これに次ぐものとして徽章賞狀および賞金を授與されたもの十四件十八名（うち個人一名）賞狀および賞金を授與されたもの三十四件四十二名（うち個人三名）である、なほ今回の行賞の特長は一昨年十一月の第一回行賞の重點が主として完成品に置かれたのに對し今回は製造方面、特に製作過程における工夫創意を重視して大東亞生產の實現に邁進する一段と國民の努力が注がるべく要請せる點で日常生活における簡單な創意工夫で戰力增強に寄與して大きく寄與するとの點を深く盛り上がらせる趣旨が今回表彰せられた點とともに注目すべき傾向である

陸相の挨拶要旨

【東京電話】陸軍技術有功章授與式における陸相挨拶要旨左の通り 今や大東亞の布陣全く成り、同盟友邦と相携へて絕對必勝不敗の根基を確立致したのであるが南太平洋をはじめビルマ、アリューシャン方面における陸海空よりする敵の反攻は執拗かつ頑強なるものがあつて正に決戰段階に入りつゝあるのである。しかしてこの戰爭は極言すれば日々これが科學と科學、技術と技術の角逐ともいふべく科學技術戰はいよ／＼激烈ならしめつゝあつて敵機に一日一歩を先んずる新兵器の出現あるひは戰力增強のための新たなる創意考案は直ちに戰局を有利に進展せしめ戰勝の基となつてゐるのである。かくの如き兵器その他戰爭資材の不斷の創意改善研究とこれが整備を擔任すべき生產陣なかんづく軍工業生產部門における形而上下にわたる[illegible]

船員さんの保護を強化
保險法案改正で稼働率も大いに增進

作戰にも船、生擴にも船、實に大東亞戰爭は船舶なのだ、遞信局では陸海軍と協力して船舶の增強を目指して諸般の對策を講じてゐるが、かつ海上人的戰力の擴充すなはち船員の任務は實に第一線將兵と何ら變るところなく、その勞苦はまた筆舌に盡し難いものがあるので、これ等乘船員に對する保護對策を一層強化するため船員保險法案の改正を行ひ充實擴張することになつた、その主な要點は左の通り

一、船員法による船舶所有者の扶助又は手當支給の義務を廢し船員保險法による保險給付に變へたこと、從つて從來の療養の給付及び傷病手當金支給期間は六ケ月より九ケ月になつた、但し十月一日より施行

二、政府に於いて定めた戰時危險區域を航行する船舶（特に指定する船舶を除く）に乘組む被保險者に對してはその期間被保險者の資格期間に三分の一を加算し年金等の支給條件の期間短縮を圖つたこと、右の危險區域は瀨戸内海を除く全水域とし、加算は昭和十六年十二月八日に遡る

三、結核性患者が延長給付を受ける場合は從來受給前一年間に六ケ月間繼續して被保險者たりし資格を要してゐたのであるが、この條件を緩和して資格期間三ケ月とした

四、被保險者又は保險者の福祉增進のため保養所の開設その他必要なる施設をなすこと

五、船舶所有者の扶助義務を船員保險に取入れたため從來の扶助組織の整備を圖つたこと

がかなり廣範圍になつたので以上船員の稼働率增進を目的とした今回の改正は船腹の增強に對する諸施策と共に現下海運力充實上緊要の對策として成果を期待してゐる

愛國百人一首より
青海原 潮の八百重の八十國に つきてひろめよ この正道を
平田篤胤
赤玉ポートワイン本舗 株式會社壽屋

蔬菜に劣らぬ榮養
林檎の權威 馬善鄰博士來鮮談

【釜山電話】本邦林檎栽培の權威北海道帝大教授馬善鄰農學博士は本府技術員會議に臨席講演のため十四日朝『大陸』で北行したが發車間際のひと時を利用林檎の戰時下における重要性並に朝鮮の林檎栽培について次の如く語る

十五、六の二日間は瑞興に於いて、十七日は京城で林檎栽培について講演をする豫定だ、我國に於ける林檎栽培は明治八年に東北地方及び北海道で始められたものである、決戰下食糧增產に重點を置くことは勿論であるが、林檎は蜜柑と共に貯藏が容易で國民の保健食糧として蔬菜類と劣らぬ大きな役割をもつてゐる、栽培地も他の農產物には適しない山間を利用出來るから增產の餘地は大いにあるわけだ

更に博士は話を栽培場の技術問題に觸れて行く

從來林檎の袋かけは害蟲豫防を第一とし次に光澤をよくして商品に賣らんがためであつた、端的にいへば娘の顏に厚化粧を施して美人に見せかけんとするが如きもので實質を離れた、いはゆる自由主義的な考へ方から來てゐる、決戰下資材、勞力の不足してゐる今日袋かけは全廢したいものだ、これを廢止することによつてビタミン並に糖分を增す資材、勞力の節減と共に一石二鳥の効果がある

心食蟲は朝鮮に二種類あつてその勢は輕視出來ないから、これが絶滅については種々研究した結果、藥劑では充分に効果をあげられない、業者として簡易に行ひ得る豫防策は被害果の處分を徹底的にやり、桶に入れて一週間以上も水びたしにすればよい、又五、六月頃に心食蟲は地上に蛹をつくるから土を掘り返して驅除することである

班長章制定

【全州】國民總力全州府聯盟では總力運動の中堅指導たる愛國班長並に町聯盟理事長の士氣を昂揚し併せてその職責として班長章、理事長章の徽章を制定着用せしめる事になつたが所要者は廿五日まで府總力係に申込まれたい

大きな機帆船どし／＼造る
供木徹底 山元近く造船所
西田海事課長歸任談

【釜山電話】去る五日より四日間開催された海務局長會議に出席した遞信局海事課長西田豐彦氏は十四日朝釜山着、同夜歸城するが、會議は本年度計畫造船を中心に資材、勞力等全般について熱心な協議を行つた、内地の本年度計畫造船は尨大なものでこれが完成すれば輸送力は大いに增強される譯である、朝鮮の計畫造船は昨年度は計畫をほぼ完成したが本年度は昨年度に比較し機帆船において隻數は大體同樣だが、トン數において二倍近く擴充され、汽船を含めると約三倍增の造船となる、本年度においては三百トン級レシプロ機關船を〇隻建造することになつたが、これは朝鮮として最初の試みである、計畫造船完遂のためには從來八割を内地に仰いでゐた船材の自給を圖り供木運動を徹底するとゝもに山元に接近した個所に造船所を設置することが必要であり、目下計畫を進めてゐる、造船工の養成も緊急を要するので養成機關の設置も計畫を進めてゐる

旱害地を視察
稻垣興農部次長

【釜山】朝鮮の農村實態並に食糧事情視察のため來鮮した盟邦滿洲國稻垣興農部次長は十五日夜來釜し海雲臺温泉に一泊の上十六日金產業部長の案内で東萊、金海兩郡の部落農家に立入り戰時生活の實態並に現下の食糧事情を視察し同夜々行列車で京城へ向ふ 同氏の慶南視察は昨夏旱害被害の激甚な實情を實地に見るためで今後朝鮮全道の食糧對策に直接關聯するもので大いに注目されてゐる

密陽に昂る獻納譜

【密陽】『國滅びて何の家寶ぞ』と決戰下十五萬郡民は『擊ちてし止まむ』の決意を米英必殺の熱意へ祖先傳來の家寶貴金屬器から祭器に至るまで惜氣もなく獻納してゐるが去る十日までに集まつたものだけで何んと六千餘點を越え京城の道武官府から感謝狀が上田郡長へ届いた

基督教徒錬成

【釜山】キリスト教徒の皇民錬成＝釜山、金海、密陽、梁山、東萊の一府五ケ郡のキリスト教會七十餘箇所の牧師、傳道師、長老等四百餘名は決戰下の時局に相應し確固たる信念の下に宗教報國の實を發揚するため府内中島町港西教會に集合し泊り込みで十五、六兩日に亘り皇民錬成を行ふ

堆肥場を設置
增產に拍車

【慶尚】金肥一掃の旗幟を掲げ、堆肥增產に一路挺身してゐる漆谷郡では郡廳は勿論面事務所、各學校職員兒童を網羅し各職場に勤勞作業をもつて、堆肥場を設置し、これが增產に努め良好な成績を收めてゐる

淋毒を取る……
珍らしい黑燒王劑！（廣告）
◇…男性や惡性で淋病に惱む人々に福音をもたらす珍らしい黑燒主劑『大牧治淋散』が公賣さる。この藥は自宅で簡單に服用するだけで淋病の病菌である淋毒を吸出し大便や小便に混入して速除される實に驚つた藥で副作用がないのが特徴である。永年の淋病にて困る方も是非試されよ詳しい說明書は左記へ申込次第送呈さる。
[illegible] 田村大牧堂

けふの市況（十四日）
株 釘付け 總見送り

前場 軟式材料薄勞々總見送り人氣に特殊な二、三銘柄を除いては殆ど釘付け商狀を呈した、目先も現狀のまゝ推移する限り保合破れは困難の振合ひで場面の閑散不振は免れ難い、なほ短期は高周波五十圓八、九十錢と若干呆け、東洋輕金屬五十五圓、小林七十四圓三十錢、新鐘七十三圓五十錢、三菱重工新五十一圓十錢、日本マグネ五十一圓とそれ／＼保合範圍の小動きに過ぎなかつた

後場（閑散）双方見送り人氣に諸株とも變らず乃至は弱含みで場内閑散、いづれかの動機がない限り保合破れは困難である

實物＝凡調

新規材料待ちに場内手控へられて場面氣薄く、諸株とも凡調を辿つた、目先も強弱な値動きは期待難の形でなほ小往來を繰返すものと見られる主なる出來値左の如し

朝鮮四新一四圓五▲朝水新三二圓一二▲殖產二圓〇▲東都二六圓七▲北鮮製紙四三圓〇▲京春三六圓七▲高周波五〇圓七▲朝鮮無煙炭新五〇圓八▲鮮電新三三圓二▲渡邊鐵工新株六十七圓と前日より一圓方高値を示した、同社の今期決算は四月締切りであるが、前期は將來に備へて二分減配の六分配當を行つた、今期は業績も向上したが六分配當據置の見込で純益たる採算が目立つてゐる

東京人絹暴落 東京人絹は舊株五十三圓、同新十三圓と新舊とも前日より二、三圓方の暴落を演じた、人絹界の環境は依然惡い、石炭割當の大幅削減と[illegible]、二億化の過渡から操業率の低下を來してゐるからだ、業界の現狀からみて今期も利益の減少は免れ難く、これら嫌氣的な賣物が出るんでゐる

朝鮮石油デリ高 朝鮮石油は舊七十七圓、同新卅七圓五十錢と小刻みながらここ連日ヂリ／＼引締めてゐる、當社は南方に技術關係者を相當派遣して其地點の石油開發事業に協力してゐるので、その將來性が買はれてゐる

株式（十四日）

朝取短期

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍工新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東輕金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝陽	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝取實定と日歩

大株短期

東株短期

東株長期

[illegible]

現株仲値（十四日十一時調）

[illegible]

福 朝取一般取引員 吉村取引店 京城黄金町

川崎重工業新株の妙味
[illegible]
藤本證券會社京城支店 京城府黄金町二丁目 電(2)二六九六

京日特選 高段者勝拔戰

第十一回（圖は前局6二金迄）
左香落 六段△大和久彪 五段▲北楯修哉
各持時間 消費時間（△二時四十六分 ▲二時三十分）
▲4一飛 △6一金 ▲3二飛ナル △9九飛ナル ▲4四桂 △7一金 ▲6三龍 △6二桂

木村名人講評 下手四一飛と敵玉の背後を衝き、四四桂以下[illegible]とする手段だが、[illegible]を免れぬ

後三國志 出師の卷【121】
吉川英治（作） 矢野橋村（繪）

美丈夫姜維（二）

姜維は表裏に會つても孔明の使者であるかないのであるが、要が偽の使者であることは、天水の城へ來ると、すぐ觀破してゐたのであつた。

『およそ戰局を大觀して、その首腦部の指揮者を察し、兵の動かし方を見てゐれば、敵の何をなさんとするか位なことは分ります。一思ふに孔明の計らんとする所は、太守を天水の城から誘ひ出して、途中に兵を伏せて殲滅を加へ、一方、奇兵をこの城の留守へまはして、虛を衝き、内外同時に撃滅して、この一郡を占領しようといふつもりでせう。眞に見え透いた計略です』

彼は、馬遵とその一族へ向つて、掌を指すやうに、敵の計を解いて教へた。馬遵は、げにもと悟つて、

『もし姜維が、出陣を止めてくれなかつたら、わしは自ら罠に陥されて敵の陥し罠へ歩いて行つてしまふ所だつた』

と、今更の如く戰慄して、彼の忠言に、謝辭を表した。

年こそ若いが、姜維に對する馬遵の信頼は、その事に依つて、古參の宿將も及ばない扱ひをした。

『けふの危機は脫がれたが、明日からの難には、いかに處したらいいであらう』

かと計を、姜維に問ふやうになつた。

姜維は、城の背後を指さして、

『目には見えませんが、あの搦手の裏山には、もう、蜀軍がいつぱいに潜んでゐませう。太守の軍が城を出たら、その留守を狙ふ用意をして』

『ええ？ 伏兵がをるか』

『御心配に及びません。彼ノ計ヲ用ヒテ彼ノカヲ以テ彼ヲ亡ボス也―です。ねがはくは太守には、何も御存知ない態で、ふたゝび御出陣と觸れ、城外五十里ほど進みすぐ又、急にお城へ取つて返して下さい。そして私はべつに五千騎を擁して、要害に埋伏し、搦手の山にある敵の伏兵が虛に乘つて出て來たところを捕捉殲滅します。もしその中に孔明でも居てくれゝば、こちらの思ふつぼです。かならず生け捕りにせずには措きません』

姜維の言は壯氣凜々だつた。さはいへまだ紅顏の美少年といつてもいゝ若武者。いかにその天質が人よりすぐれて武技兵法に通達して[illegible]

趙雲が靜まつてゐると、もう？繼いて來る味方はない筈の山上から賊の聲が起り、あなやと、振顧つてゐる間に、土砂亂岩倒木などが雪崩れの如く落ちて來た。

『敵だ？』

と備へを改める遑もない。また忽ち一方の澤からも、鉦鼓を鳴らして、一軍が奇襲して來た。さしもの趙雲も狼狽して、

『西の谷あひは險い。西の澤へ移れ』

と號令したが、同時に城中から射出した雨の如き亂箭も加はつて早くも斃れる部下は數知れない。

『老朽の蜀將、逃げ給ふな 天水の姜維これにあり』

呼ばはりつゝ追ひかけて來る一騎の若武者があるので、趙雲が駒を止めてみると、正に、花恥かしきばかりの美丈夫。

『討つも憐れだが、望みとあれば――』

趙雲は殆ど一瞬にと思つてこれを迎へたらしいが、この若者の槍法たるや、世の常の槍法ではない。烈々火華を交へること四十餘合、蜀の古豪趙子龍も、敵はじと思つたか、ふいに後を見せて逃げてしまつた。

盲滅法、打つて打つて打ちまくる勇猛果敢な薩摩武士兵六をこりまいて起る爆笑と妖怪の大奮戰!!
兵六夢物語
十五日封切
一 榎本 健 … 子 高峰 秀 る 霧 立 ほ 郎 黒 川 の 太 彌
四月十五日より 平日は午後一時卅分 日曜祭日は十二時三十分 開映致します
東寶
明治座 若草劇場

十五日封切
敵機空襲
上原謙 田中絹代 高峰三枝子
京城寶塚劇場 京城劇場

株式會社 東亞證券 短期現物
[illegible]

花柳病專門 [illegible]

短期 ウ 現株
內海清藏商店
京城明治町

健康を生む
病氣に追はれづめの育兒は駄目です！
積極的な抗病健康兒へと育てる秀れた良藥の救急治病保健作用！
吸にパラコニン液
樋屋奇應丸
大阪 樋屋資合會社

四ケ月速成科 一ケ年總科 支那語科 高等豫備科
[illegible] 京城青年會

傑作歌謠曲 海はふるさと
岡晴夫
北の[illegible]線
大日本雄辯會講談社 キングレコード